

科目名	【新カリ】教育原理 [前半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】教育原理 [前半]			対象学年	1年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	牛尾 直行			ナンバリング	PED1401
担当教員	牛尾 直行、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本授業は、現代教育に関する基礎的で理論的な知識および原理を系統的に学び、それを踏まえた上で現代の教育課題に対する考察を深めることを目的とする。教育に関するミニマム・エッセンシャルズをひろく学ぶことで、それが現代の教育課題および自分自身の教育経験とどのようにつながっているのか、各受講者がそれぞれ考えながら受講し、教育学の基礎を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育に関する思想・歴史・制度概略が理解できる。</li> <li>2. 人間の成長や学びについて、理論的に説明できる。</li> <li>3. 自らが受けてきた教育について振り返り、客観視できる。</li> <li>4. 以上を通して、将来教員になる者としての教育観の基礎をつくることができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	本科目は教育実習に行く前に必ず単位取得していなければいけない教職ハードル科目である。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験50%、毎回の授業後の課題30%、課題レポート20%で総合的に評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育に関する思想・歴史・制度の概略を自分の言葉で説明できるか、定期試験で評価する。</li> <li>2. GWで様々な課題を自らの問題として考察し、積極的に解決策を考察できたか、授業後の課題などから評価する。</li> <li>3. 講義や自主学習から得た知識や課題を深めることができたか、複数の課題レポートから評価する。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
通常の課題についてのフィードバックについては講義内で解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	実践に活かす教育基礎論・教職論	牛尾直行・穂口直弘	学事出版	978-4-7619-1757-9	授業中に指示
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<b>【連絡先】</b> 担当：牛尾 直行 (1号館2F1220 教育学研究室) E-mail：n-ushio*juntendo.ac.jp (*を@に修正してください) <b>【オフィスアワー】</b> 月曜～木曜のお昼休み				
担当教員の実務経験					
備考	<b>【学修時間】</b> この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容を持って構成する。 <b>【その他】</b> 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目（教育の基礎的理解に関する科目）である。 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性があります。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	牛尾	テーマ：本授業の導入、教育とは？ 無意図的教育と意図的教育、フォーマル教育とインフォーマル教育、狼に育てられた子等について学び、人間の成長と学びについてその概要と課題を理解・説明することによって、本講義の学習課題について整理する。	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	(復習：1時間) 配布するプリントとノートを読み直して授業内容の復習をすること。	
2	牛尾	テーマ：教育の目的 教育の目的について多方面から考察するため、公教育の成立、3R's、社会化、実質陶冶・形式陶冶、教育基本法第1条などを学び、自分たちが受けてきた公教育の目的について考察する。	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	(予習：1時間) 配布プリントを予め読んでおくこと。 (復習：2時間) 配布プリントの空欄補充をして、次週に提出すること。	
3	牛尾	テーマ：子ども親の変遷 中世ヨーロッパと近世日本の子ども観、『子供の誕生』、母性、近代家族、子育ての慣習等について学び、「大人になること」をどう説明できるか考える。	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	(予習：2時間) プリントを予め読んでおくこと。 (復習：2時間) URLを指定したVTRを視聴し、レポート課題①を作成する。	




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】教育原理 [後半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】教育原理 [後半]			対象学年	1年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	牛尾 直行			ナンバリング	PED1401
担当教員	牛尾 直行、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本授業は、現代教育に関する基礎的で理論的な知識および原理を系統的に学び、それを踏まえた上で現代の教育課題に対する考察を深めることを目的とする。教育に関するミニマム・エッセンシャルズをひろく学ぶことで、それが現代の教育課題および自分自身の教育経験とどのようにつながっているのか、各受講者がそれぞれ考えながら受講し、教育学の基礎を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育に関する思想・歴史・制度概略が理解できる。</li> <li>2. 人間の成長や学びについて、理論的に説明できる。</li> <li>3. 自らが受けてきた教育について振り返り、客観視できる。</li> <li>4. 以上を通して、将来教員になる者としての教育観の基礎をつくることができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	本科目は教育実習に行く前に必ず単位取得していなければいけない教職ハードル科目である。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験50%、毎回の授業後の課題30%、課題レポート20%で総合的に評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育に関する思想・歴史・制度の概略を自分の言葉で説明できるか、定期試験で評価する。</li> <li>2. GWで様々な課題を自らの問題として考察し、積極的に解決策を考察できたか、授業後の課題などから評価する。</li> <li>3. 講義や自主学習から得た知識や課題を深めることができたか、複数の課題レポートから評価する。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
通常の課題についてのフィードバックについては講義内で解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	実践に活かす教育基礎論・教職論	牛尾直行・穂口直弘	学事出版	978-4-7619-1757-9	授業中に指示
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<b>【連絡先】</b> 担当：牛尾 直行 (1号館2F1220 教育学研究室) E-mail：n-ushio*juntendo.ac.jp (*を@に修正してください) <b>【オフィスアワー】</b> 月曜～木曜のお昼休み				
担当教員の実務経験					
備考	<b>【学修時間】</b> この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容を持って構成する。 <b>【その他】</b> 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目（教育の基礎的理解に関する科目）である。 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性があります。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	牛尾	テーマ：本授業の導入、教育とは？ 無意図的教育と意図的教育、フォーマル教育とインフォーマル教育、狼に育てられた子等について学び、人間の成長と学びについてその概要と課題を理解・説明することによって、本講義の学習課題について整理する。	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	（復習：1時間） 配布するプリントとノートを読み直して授業内容の復習をすること。	
2	牛尾	テーマ：教育の目的 教育の目的について多方面から考察するため、公教育の成立、3R's、社会化、実質陶冶・形式陶冶、教育基本法第1条などを学び、自分たちが受けてきた公教育の目的について考察する。	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	（予習：1時間） 配布プリントを予め読んでおくこと。 （復習：2時間） 配布プリントの空欄補充をして、次週に提出すること。	
3	牛尾	テーマ：子ども親の変遷 中世ヨーロッパと近世日本の子ども観、『子供の誕生』、母性、近代家族、子育ての慣習等について学び、「大人になること」をどう説明できるか考える。	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	（予習：2時間） プリントを予め読んでおくこと。 （復習：2時間） URLを指定したVTRを視聴し、レポート課題①を作成する。	





科目名	【新カリ】教育心理学	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】教育心理学	対象学年	1年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	村上 達也	ナンバリング	PSY1403		
担当教員	村上 達也、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	教育心理学領域で提唱されている知識・理論を幅広く紹介し、現実的な教育場面に適用できることを目指す。この授業では、乳幼児や児童生徒の心身の発達過程や、学習の過程について解説する。具体的には、前半は発達のメカニズムとして基本的特徴のほか認知・言語・社会性、道徳性などの発達を、後半は学習のメカニズムとして記憶や思考、知能、学習理論などを取り上げる。また、教育方法の実践や学習評価、主体的な学習を支える指導なども取り上げる。				
到達目標	1. 発達のメカニズムを理解し説明できる。 2. 学習のメカニズムを理解し説明できる。 3. 教育方法の実践や学習評価、主体的な学習を支える指導を理解し説明できる。				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育I種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	学校教育場面において、教育者に求められるニーズは多様化し、心理学領域の知識・技能を修得することが求められている。本授業では、教育心理学の基礎を学び、それを現実の生活へと応用する力を醸成することで、現代社会で求められる教員の養成を目指す。本科目は、教職に関する科目である。				
履修上の注意、履修要件	履修要件：特になし。 履修上の注意：配布プリントを保管するためのファイルを準備すること。				
成績評価の方法					
評価方法	中間レポート30%・定期試験40%・授業内レポート30%を基本に総合的に評価する。ただし、受講態度がふさわしくなく、改善が認められない場合、減点する。定期試験（70%）、授業内試験・レポート・平常点（30%）。				
評価基準	1. 発達のメカニズムを理解し説明できる。（授業内レポート・中間レポート・定期試験） 2. 学習のメカニズムを理解し説明できる。（授業内レポート・中間レポート・定期試験） 3. 教育方法の実践や学習評価、主体的な学習を支える指導を理解し説明できる。（授業内レポート・中間レポート・定期試験）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業内の質問や疑問は、適宜対応する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
テキストは使用せず、配布プリントを用いて講義を進める。ここに挙げている以外の参考書などは授業の際に適宜、紹介を行う。 文部科学省（2010）. 生徒指導提要 教育図書. ISBN: 9784877302740 藤原和政・谷口弘一（編）（2021）. 学校現場で役立つ教育心理学：教師をめざす人のために 北大路書房. ISBN: 9784762831799					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 担当：村上達也 E-mail:t.murakami.lr[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更  【オフィスアワー】 時間：水曜日 12:30-13:00 場所：さくらキャンパス1号館2階1221号室  ※上記の時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と重ならないようにするために、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。				
担当教員の実務経験	学校心理士・臨床発達心理士として、教育現場での実務経験がある。授業では、これらで得られた生きた知見を紹介する。				
備考	【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。  【その他】 学生の学習進度に応じて、あるいは、授業内レポートのコメントに応じて授業計画を変更する場合がある。 また、授業の中で、4年生や大学院生などによる質問紙調査や実験への参加募集を行う場合がある。参加することによって、心理学研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。 しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。 履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。  新型コロナウイルス感染症の発生状況やその他の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	村上 達也	【授業内容】 オリエンテーションとして、授業の目的と概要、成績評価、履修上の注意について説明する。また、教育心理学の全体像について、最近のテーマを含めて解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(復習：2時間) 教育心理学の全体像について、学んだ知識を整理しておく。
2	村上 達也	【授業内容】 発達メカニズム①として、運動発達と、発達の基本的特徴について解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 運動発達と、発達の基本的特徴について、学んだ知識を整理しておく。
3	村上 達也	【授業内容】 発達メカニズム②として、認知・言語の発達について解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 認知・言語の発達について、学んだ知識を整理しておく。
4	村上 達也	【授業内容】 発達メカニズム③として、社会性の発達について解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 社会性の発達について、学んだ知識を整理しておく。
5	村上 達也	【授業内容】 発達メカニズム④として、道徳性・自我同一性の発達について解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 道徳性・自我同一性の発達について、学んだ知識を整理しておく。
6	村上 達也	【授業内容】 学習メカニズム①として、記憶メカニズムや種類について解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 記憶メカニズムや種類について、学んだ知識を整理しておく。
7	村上 達也	【授業内容】 授業内試験・レポートにより到達度を確認するとともに、知識をより定着させたものにする。	【授業方法】 第1～6回目までの内容に関する授業内試験・レポートを行い、この授業内で解説する。	(予習：4時間) これまでの内容を体系的に整理するとともに、授業内試験・レポートに向けて知識を確実にしておく。 (復習：3時間) 間違えた内容を中心に、理解・記憶を確実にする。
8	村上 達也	【授業内容】 学習メカニズム②として、思考の特徴について解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 思考の特徴について、学んだ知識を整理しておく。
9	村上 達也	【授業内容】 学習メカニズム③として、創造的思考について最近の研究を含めて解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 創造的思考について、学んだ知識を整理しておく。
10	村上 達也	【授業内容】 学習メカニズム④として、知能の種類・特徴について解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 知能の種類・特徴について、学んだ知識を整理しておく。
11	村上 達也	【授業内容】 学習メカニズム⑤として、学習理論について解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 学習理論について、学んだ知識を整理しておく。
12	村上 達也	【授業内容】 教育方法の実践、学習評価などを解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 教育方法の実践、学習評価などについて、学んだ知識を整理しておく。
13	村上 達也	【授業内容】 主体的な学習を支える指導として、動機づけなどを含めて解説する。	【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 (復習：2時間) 動機づけなど主体的な学習を支える指導に関する内容を整理しておく。
14	村上 達也	【授業内容】 授業内試験・レポートにより到達度を確認するとともに、知識をより定着させたものにする。	【授業方法】 第8～13回目までの内容に関する授業内試験・レポートを行い、この授業内で解説する。	(予習：4時間) これまでの内容を体系的に整理するとともに、授業内試験・レポートに向けて知識を確実にしておく。 (復習：3時間) 間違えた内容を中心に、理解・記憶を確実にする。
		定期試験		



科目名	【新カリ】特別活動の指導法 [前半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】特別活動の指導法 [前半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	緑川 哲夫			ナンバリング	PED2404
担当教員	緑川 哲夫、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	特別活動は、学校における様々な構成での集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々な行われる活動の総体である。この講義では、学校教育全体における特別活動の意義や目標、特別活動の内容や指導・評価の在り方を講義や演習、討議などにより特別活動の指導に必要な知識や素養を身に付けることができることを目標にする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領における特別活動の特質、教育的意義、特別活動の目標及び内容について理解できる。</li> <li>2. 教育課程における特別活動の位置づけと各教科等との関連を理解できる。</li> <li>3. 学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の特質や目標、指導の在り方、合意形成に向けた話し合い活動や意思決定につながる指導法や指導計画の作成の仕方を理解している。</li> <li>4. 特別活動と生徒指導、学級経営との関連を理解し、学級経営の意義を踏まえた学級経営案が作成できる。</li> <li>5. 学校としての取組や学校と家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解している。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	<b>【履修要件】</b> 特になし <b>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</b> 記述内容等を確認し、授業にて模範解答や評価のポイントを提示し、解説します。				
成績評価の方法					
評価方法	<b>【評価方法、比率】</b> 講義や討議への積極的参加度、学級活動指導案(30%)、定期試験(70%)を総合して評価する。				
評価基準	<b>【評価基準】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別活動の特質、意義、目標及び内容について具体的に述べる事が出来る。(レポート)</li> <li>2. 学級活動・ホームルーム活動の指導・評価の在り方を踏まえて指導計画(学級活動指導案)が作成できる。(学級活動指導案)</li> <li>3. 生徒会活動、学校行事、学級経営の指導・評価の在り方を踏まえて指導計画が作成できる。(レポート)</li> <li>4. 学校としての取組や学校と家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方が説明できる。(レポート)</li> <li>5. 講義への積極的参加度を評価する。(平常点)</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
記述内容等を確認し、授業にて模範解答や評価のポイントを提示し、解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新学習指導要領準拠 特別活動指導法 改訂版 第2刷	渡部邦雄・緑川哲夫・桑原憲一 編著	日本文教出版 2018年	978-4-536-60114-6	購入必須
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中学校学習指導要領解説 特別活動編 文部科学省 東山書房</li> <li>2. 高等学校学習指導要領解説 特別活動編 文部科学省 明治図書</li> </ol> その他、資料は授業中に適宜配付する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<b>【連絡先】</b> 担当：緑川哲夫 E-mail: t-midorikawa@juntendo.ac.jp <b>【オフィスアワー】</b> 講義前か講義終了後に担当教員まで質問や相談をしてください。				
担当教員の業務経験	この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関及び大学での勤務経験を生かし、学校現場において求められる知識や指導法をわかりやすく解説する。				
備考	<b>【学修時間】</b> この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。				
	<b>【その他】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. この授業科目は、中学校教諭1種免許状(保健体育)並びに高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教科に関する科目」における必修科目として位置づけられています。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性があります。</li> </ol>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：授業オリエンテーション、特別活動の特質と教育的意義、特別活動の経験と学ぶ。	授業の進め方、特別活動の特質、特別活動の教育的意義について解説する。	(予習：1時間) 特別活動とは何か、学習指導要領における特別活動の位置づけを調べておきましょう。 (復習：1時間) ワークシートに特別活動の特質・教育的意義について整理しておきましょう。
2	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：学習指導要領にみる特別活動の変遷と新学習指導要領における特別活動の目標と内容についての理解を深める。	学習指導要領にみる特別活動の変遷と新学習指導要領における特別活動の目標と内容について解説する。小グループで学習指導要領の変遷の特徴と法的位置づけについて確認する。	(予習：1時間) 新学習指導要領における特別活動の目標と内容、学習指導要領の法的位置づけを予習しておきましょう。 (復習：2時間) ワークシートに「特別活動の特質・教育的意義について整理し、小・中・高等学校時代の自らの特別活動の経験」をまとめておきましょう。
3	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：特別活動指導の基盤となる学級経営の意義と学級づくりの方法について理解を深める。	「チームとしての学校」として、学校経営、学年経営、学級経営の関連を図ることの重要性を理解し、自らが理想とする学級づくりの基本的な方法を解説する。自らの小・中・高等学校時代の学級生活を振り返り、グループで各自の心に残った学級の様子を発表し合い、理想的な学級担任像を考察する。	(予習：1時間) 教科書の該当ページを読んでおきましょう。 (復習：3時間) 自分の経験やグループのメンバーから発表された心に残った学級の様子を参考にして、自分の理想とする学級づくりの構想をワークシートに記入しておきましょう。
4	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連、学校と家庭・地域住民、関係機関との連携の在り方	小・中・高等学校時代の体験を振り返り、講義内容との関連を図りながら、特別活動と各教科等との関連、学校と家庭・地域住民、関係機関との連携の在り方を考察する。	(予習：1時間) 教科書の該当ページを読んでおきましょう。 (復習：2時間) 本時の学習内容をもとにワークシートを整理しておきましょう。
5	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：生徒指導、キャリア教育と特別活動	ワークシートに、児童生徒時代の生徒指導、キャリア教育の体験と学んだことをまとめた後、ペアで相互に説明しあう。生徒指導、キャリア教育の意義や特別活動との関連を考察する。	(予習：2時間) 教科書の該当ページを読み、小・中・高等学校時代の生徒指導の体験を振り返りまとめておきましょう。 (復習：1時間) 講義内容やペアで情報交換したことを参考にワークシートをまとめておきましょう。
6	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：学級活動・ホームルーム活動の目標と内容、指導上の留意点について理解を深める。	中学校の学級活動、高等学校のホームルーム活動の目標と内容、指導法と指導上の留意点について解説する。	(予習：1時間) 教科書該当ページを読んでおきましょう。(復習：1時間) 講義で学習した内容や自分の小・中・高等学校時代の学級活動・ホームルーム活動の経験を振り返ってワークシートをまとめておく。

7	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導の在り方、指導計画と学習指導案の作成について理解を深める。	合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導の在り方、学級活動の指導計画（全体計画、年間指導計画を踏まえた1単位時間の指導計画（学習指導案））の作成の仕方について解説する。	（予習：2時間） 教科書の該当ページ及び事前に配布した資料「学習指導案の作成と留意点」を読んでおきましょう。 （復習：6時間） 講義資料「学習指導案の作成と留意点」で確認した所定の書式により、1単位時間の指導計画（学習指導案）を作成しておきましょう。
8	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：学習指導案を検討する。	グループで各自が作成した学習指導案をもとに模擬授業を行いその結果を検討し合い、よい点や改善点を明確にする。	（復習：1時間） 授業において学習指導案を検討するため、作成した学習指導案の内容を確認しておきましょう。 （復習：4時間） 次回の確認テストのための復習をしておきましょう。模擬授業とグループディスカッションの結果等を踏まえて、学習指導案を改良しておきましょう。
9	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：①確認テスト ②生徒会活動の目標と内容、指導上の留意点について理解を深める。	試験についての解説の後、生徒会活動の目標と内容、指導上の留意点について解説する。講義内容や自らの経験を参考にして、ペアになり、担当したい生徒会・各種委員会を決め、指導計画を共同で立案し、その結果をワークシートにまとめる。	（予習：1時間） 教科書の該当ページを読んでおきましょう。 （復習：2時間） 講義で取り上げた内容や自分の中・高等学校時代の生徒会活動の経験やグループでの検討結果を振り返って教科書のワークシートにまとめておきましょう。
10	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：生徒会活動の指導計画を作成する。	生徒会活動の指導計画を作成する上での配慮事項について理解する。グループになり、討論により担当する委員会を1つ選び共同して委員会の指導計画を作成する。	（予習：3時間） 教科書の該当ページ読んで、自分の委員会活動の体験をまとめておきましょう。 （復習：2時間） グループ討論によりまとめた委員会活動の指導計画を教科書のワークシートにまとめておきましょう。
11	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：学校行事の目標と内容、指導法および指導上の留意点について理解を深める。	学校行事の目標と内容、指導上の留意点について解説する。グループで、学校行事の目標と内容、指導法および指導上の留意点について確認しあう。	（予習：2時間） 教科書の該当ページを読んでおきましょう。 （復習：2時間）授業の学習内容やグループ討議での意見や合意内容等を参考にして、教科書のワークシートをまとめておきましょう。
12	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：学校行事の指導計画の作成について理解を深める。	学校行事の指導計画の作成、指導計画作成上の留意点について解説する。グループになり、教科書のワークシート「学校行事全体にわたる年間指導計画」を作成する。	（予習：3時間） 教科書の該当ページを読み、ワークシートに、自分が考えた学校行事全体にわたる年間指導計画案と個別の行事指導計画案を記入しておきましょう。 （復習：2時間） 講義内容や児童・生徒時代の経験を踏まえて、健康安全・体育的行事担当者として、指導計画案を立案しておきましょう。




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】特別活動の指導法 [後半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】特別活動の指導法 [後半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	緑川 哲夫			ナンバリング	PED2404
担当教員	緑川 哲夫、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	特別活動は、学校における様々な構成での集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々な行われる活動の総体である。この講義では、学校教育全体における特別活動の意義や目標、特別活動の内容や指導・評価の在り方を講義や演習、討議などにより特別活動の指導に必要な知識や素養を身に付けることができることを目標にする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領における特別活動の特質、教育的意義、特別活動の目標及び内容について理解できる。</li> <li>2. 教育課程における特別活動の位置づけと各教科等との関連を理解できる。</li> <li>3. 学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の特質や目標、指導の在り方、合意形成に向けた話し合い活動や意思決定につながる指導法や指導計画の作成の仕方を理解している。</li> <li>4. 特別活動と生徒指導、学級経営との関連を理解し、学級経営の意義を踏まえた学級経営案が作成できる。</li> <li>5. 学校としての取組や学校と家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解している。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 特になし 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 記述内容等を確認し、授業にて模範解答や評価のポイントを提示し、解説します。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【評価方法、比率】 講義や討議への積極的参加度、学級活動指導案(30%)、定期試験(70%)を総合して評価する。</p>				
評価基準	<p>【評価基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別活動の特質、意義、目標及び内容について具体的に述べる事が出来る。(レポート)</li> <li>2. 学級活動・ホームルーム活動の指導・評価の在り方を踏まえて指導計画(学級活動指導案)が作成できる。(学級活動指導案)</li> <li>3. 生徒会活動、学校行事、学級経営の指導・評価の在り方を踏まえて指導計画が作成できる。(レポート)</li> <li>4. 学校としての取組や学校と家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方が説明できる。(レポート)</li> <li>5. 講義への積極的参加度を評価する。(平常点)</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
記述内容等を確認し、授業にて模範解答や評価のポイントを提示し、解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新学習指導要領準拠 特別活動指導法 改訂版 第2刷	渡部邦雄・緑川哲夫・桑原憲一 編著	日本文教出版 2018年	978-4-536-60114-6	購入必須
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中学校学習指導要領解説 特別活動編 文部科学省 東山書房</li> <li>2. 高等学校学習指導要領解説 特別活動編 文部科学省 明治図書</li> </ol> その他、資料は授業中に適宜配付する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：緑川哲夫 E-mail: t-midorikawa@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 講義前か講義終了後に担当教員まで質問や相談をしてください。</p>				
担当教員の業務経験	この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関及び大学での勤務経験を生かし、学校現場において求められる知識や指導法をわかりやすく解説する。				
備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. この授業科目は、中学校教諭1種免許状（保健体育）並びに高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教科に関する科目」における必修科目として位置づけられています。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性があります。</li> </ol>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：授業オリエンテーション、特別活動の特質と教育的意義、特別活動の経験と学ぶ。	授業の進め方、特別活動の特質、特別活動の教育的意義について解説する。	(予習：1時間) 特別活動とは何か、学習指導要領における特別活動の位置づけを調べておきましょう。 (復習：1時間) ワークシートに特別活動の特質・教育的意義について整理しておきましょう。
2	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：学習指導要領にみる特別活動の変遷と新学習指導要領における特別活動の目標と内容についての理解を深める。	学習指導要領にみる特別活動の変遷と新学習指導要領における特別活動の目標と内容について解説する。小グループで学習指導要領の変遷の特質と法的位置づけについて確認する。	(予習：1時間) 新学習指導要領における特別活動の目標と内容、学習指導要領の法的位置づけを予習しておきましょう。 (復習：2時間) ワークシートに「特別活動の特質・教育的意義について整理し、小・中・高等学校時代の自らの特別活動の経験」をまとめておきましょう。
3	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：特別活動指導の基盤となる学級経営の意義と学級づくりの方法について理解を深める。	「チームとしての学校」として、学校経営、学年経営、学級経営の関連を図ることの重要性を理解し、自らが理想とする学級づくりの基本的な方法を解説する。自らの小・中・高等学校時代の学級生活を振り返り、グループで各自の心に残った学級の様子を発表し合い、理想的な学級担任像を考察する。	(予習：1時間) 教科書の該当ページを読んでおきましょう。 (復習：3時間) 自分の経験やグループのメンバーから発表された心に残った学級の様子を参考にして、自分の理想とする学級づくりの構想をワークシートに記入しておきましょう。
4	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連、学校と家庭・地域住民、関係機関との連携の在り方	小・中・高等学校時代の体験を振り返り、講義内容との関連を図りながら、特別活動と各教科等との関連、学校と家庭・地域住民、関係機関との連携の在り方を考察する。	(予習：1時間) 教科書の該当ページを読んでおきましょう。 (復習：2時間) 本時の学習内容をもとにワークシートを整理しておきましょう。
5	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：生徒指導、キャリア教育と特別活動	ワークシートに、児童生徒時代の生徒指導、キャリア教育の体験と学んだことをまとめた後、ペアで相互に説明しあう。生徒指導、キャリア教育の意義や特別活動との関連を考察する。	(予習：2時間) 教科書の該当ページを読み、小・中・高等学校時代の生徒指導の体験を振り返りまとめておきましょう。 (復習：1時間) 講義内容やペアで情報交換したことを参考にワークシートをまとめておきましょう。
6	緑川哲夫	【授業内容】 テーマ：学級活動・ホームルーム活動の目標と内容、指導上の留意点について理解を深める。	中学校の学級活動、高等学校のホームルーム活動の目標と内容、指導法と指導上の留意点について解説する。	(予習：1時間) 教科書該当ページを読んでおきましょう。(復習：1時間) 講義で学習した内容や自分の小・中・高等学校時代の学級活動・ホームルーム活動の経験を振り返ってワークシートをまとめておく。

7	緑川哲夫	<p>【授業内容】          テーマ：合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導の在り方、指導計画と学習指導案の作成について理解を深める。</p>	<p>合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導の在り方、学級活動の指導計画（全体計画、年間指導計画を踏まえた1単位時間の指導計画（学習指導案））の作成の仕方について解説する。</p>	<p>（予習：2時間）          教科書の該当ページ及び事前に配布した資料「学習指導案の作成と留意点」を読んでおきましょう。          （復習：6時間）          講義資料「学習指導案の作成と留意点」で確認した所定の書式により、1単位時間の指導計画（学習指導案）を作成しておきましょう。</p>
8	緑川哲夫	<p>【授業内容】          テーマ：学習指導案を検討する。</p>	<p>グループで各自が作成した学習指導案をもとに模擬授業を行いその結果を検討し合い、よい点や改善点を明確にする。</p>	<p>（復習：1時間）          授業において学習指導案を検討するため、作成した学習指導案の内容を確認しておきましょう。          （復習：4時間）          次回の確認テストのための復習をしておきましょう。模擬授業とグループディスカッションの結果等を踏まえて、学習指導案を改良しておきましょう。</p>
9	緑川哲夫	<p>【授業内容】          テーマ：①確認テスト ②生徒会活動の目標と内容、指導上の留意点について理解を深める。</p>	<p>試験についての解説の後、生徒会活動の目標と内容、指導上の留意点について解説する。講義内容や自らの経験を参考にして、ペアになり、担当したい生徒会・各種委員会を決め、指導計画を共同で立案し、その結果をワークシートにまとめる。</p>	<p>（予習：1時間）          教科書の該当ページを読んでおきましょう。          （復習：2時間）          講義で取り上げた内容や自分の中・高等学校時代の生徒会活動の経験やグループでの検討結果を振り返って教科書のワークシートにまとめておきましょう。</p>
10	緑川哲夫	<p>【授業内容】          テーマ：生徒会活動の指導計画を作成する。</p>	<p>生徒会活動の指導計画を作成する上での配慮事項について理解する。グループになり、討論により担当する委員会を1つ選び共同して委員会の指導計画を作成する。</p>	<p>（予習：3時間）          教科書の該当ページ読んで、自分の委員会活動の体験をまとめておきましょう。          （復習：2時間）          グループ討論によりまとめた委員会活動の指導計画を教科書のワークシートにまとめておきましょう。</p>
11	緑川哲夫	<p>【授業内容】          テーマ：学校行事の目標と内容、指導法および指導上の留意点について理解を深める。</p>	<p>学校行事の目標と内容、指導上の留意点について解説する。グループで、学校行事の目標と内容、指導法および指導上の留意点について確認しあう。</p>	<p>（予習：2時間）          教科書の該当ページを読んでおきましょう。          （復習：2時間）          授業の学習内容やグループ討議での意見や合意内容等を参考にして、教科書のワークシートをまとめておきましょう。</p>
12	緑川哲夫	<p>【授業内容】          テーマ：学校行事の指導計画の作成について理解を深める。</p>	<p>学校行事の指導計画の作成、指導計画作成上の留意点について解説する。グループになり、教科書のワークシート「学校行事全体にわたる年間指導計画」を作成する。</p>	<p>（予習：3時間）          教科書の該当ページを読み、ワークシートに、自分が考えた学校行事全体にわたる年間指導計画案と個別の行事指導計画案を記入しておきましょう。          （復習：2時間）          講義内容や児童・生徒時代の経験を踏まえて、健康安全・体育的行事担当者として、指導計画案を立案しておきましょう。</p>




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】総合的な学習の時間の内容と教育課程の編成 [前半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】総合的な学習の時間の内容と教育課程の編成 [前半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	長岡 知			ナンバリング	PED2405
担当教員	長岡 知、牛尾 直行、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>総合的な学習の時間について、その教育課程の中における位置づけや目標や学習内容等について解説し、探究的な見方・考え方を働かせる総合的な学習の時間の授業の創出に向けた指導計画の作成を通じて、テーマ設定や指導計画、単元計画について考察する。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に示されている総合的な学習の時間の目標や内容等について説明することができる。</li> <li>2. 学習指導要領に基づいた学習指導案を作成できる。</li> <li>3. スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を活用して、具体的な課題探究の教材づくりの演習を通して実践的指導力を身に付ける。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>本講義では、総合的な学習の時間目標や内容等について理解するとともに、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を創出するための具体的な手立てについての理解を深める。講義を通して教員として必要な知識や実践的指導力を身に付けることができるよう、本授業では学習指導要領をはじめとする授業実践例を概観し、幅広い知識や教養を講義にて学び、得られた情報をもとに年間指導計画や単元計画を作成し、授業を展開する時に必要な応用力、表現力を身につけることを目指す。この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>将来教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により変更することがある。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>「総合的な学習の時間」指導法は、教職課程における必修科目であるので、必ず履修をすること。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>授業態度や取り組む姿勢等、毎時の課題提出、単元計画・学習指導案作成、定期試験にて評価する。なお、授業態度・取り組む姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に示されている目標や内容等を理解し、効果的な総合的な学習の時間の授業を作成するための基本的な考え方と進め方について理解できているか、毎時の課題提出で評価する。（平常点）</li> <li>2. 授業実践に向けた学習指導案の書き方が理解できているか、学習指導案の提出で評価する。（レポート）</li> <li>3. 課題探究の教材づくり等のグループワークに主体的・対話的に参加しているか、授業中の発言やワークシート、予習復習の取組状況によって受講態度を評価する。（平常点）</li> <li>4. 定期試験を実施する。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[試験、レポート等の課題に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業にて返却し、模範回答や評価のポイントを提示しながら解説する。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間	文部科学省	東山書房	978-4-8278-1561-0	平成30年3月発行
	高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間	文部科学省	学校図書	978-4-7625-0536-2	平成31年3月発行
参考文献					
<p>[参考書等]</p> <p>授業の際に提示する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>長岡 Email:tm-nagaoka@juntendo.ac.jp 牛尾 Email:n-ushio@juntendo.ac.jp</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>長岡：火曜日 12:50～14:30 1号館4階1416号室 牛尾：月曜日～木曜日 12:00～12:50 1号館1220号室 ※上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。</p>				
担当教員の実務経歴	<p>[実務経験のある教員による授業]</p> <p>学校現場（高等学校）・教育行政（指導主事）において保健体育教員、担任業務、指導行政にあっていた経験を生かし、学校現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説します。</p>				

備考				
<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] この授業科目は、中学校教諭1免許状（保健体育）並びに高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教育の基礎的理解に関する科目等」における必修科目として位置づけられている。また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長岡	<p>[授業内容] テーマ：ガイダンス ・総合的な学習の時間（現状と課題） ・授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する</p>	<p>[授業方法] スライド講義、グループワーク ペア学習により、総合的な学習の時間について意見を出し合う。</p>	<p>（予習：2時間） ・総合的な学習の時間の授業を振りかえり、自分なりの課題を見だし、受講の心構えを確認する。 （復習：3時間） ・総合的な学習の時間の意義を踏まえ、今後の学習の見通しを立て、学習内容について概観し、整理する。</p>
2	牛尾	<p>[授業内容] テーマ：学校教育課程と学習指導要領 学習指導要領の変遷と法的性格について概説し、総合的な学習の時間を通して学力・資質能力を育成するための教育課程の編成についての理解を深める。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。 （予習：2時間） 総合的な学習の時間の目標の構成や趣旨について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
3	牛尾	<p>[授業内容] テーマ：目標論・学力論 総合的な学習の時間の創設された背景や意義、目標について概説し、総合的な学習の時間を通して育てる学力・資質能力について理解を深める。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を読み、理解を深める。 （予習：2時間） 総合的な学習の時間の創設の背景や目標の変遷について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
4	牛尾	<p>[授業内容] テーマ：教材論・カリキュラム開発 授業を進める上で教材とは何か、教材開発の手法及びカリキュラムの意義と役割について理解を深める。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。 （予習：2時間） 保健の指導内容について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
5	長岡	<p>[授業内容] テーマ：内容論 各学校において定める目標及び内容について解説し、課題に基づき整理する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（復習：3時間） 総合的な学習の時間の目標及び内容の設定について理解を深める。 （予習：2時間） 自分の関心のある探究課題を選択し、指導計画について構造的にまとめる。</p>
6	長岡	<p>[授業内容] テーマ：指導計画 総合的な学習の時間における指導計画の作成方法について理解し、単元計画を作成する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習により、指導計画・単元計画作成の意義についての理解を深める。</p>	<p>（復習：3時間） 総合的な学習の時間の基礎的条件、内容的条件について、整理する。 （予習：2時間） 総合的な学習の時間の指導方法について、学習指導要領解説書を読み、理解を深めておく</p>
7	長岡	<p>[授業内容] テーマ：学習指導論 探求的な見方・考え方を働かす総合的な学習の時間とは何かを考え、総合的な学習の時間の基礎的条件と内容的条件について理解する。</p>	<p>[授業方法] グループワーク、プリントとスライドを用いて講義を進める。グループ・ディスカッションを通じて、探求的な見方・考え方とは何かについて意見交換し理解を深める。</p>	<p>（復習：3時間） 総合的な学習の時間の基礎的条件、内容的条件について、整理する。 （予習：2時間） 総合的な学習の時間の観点別評価について理解を深めておく。</p>
8	長岡	<p>[授業内容] テーマ：学習評価 総合的な学習の時間における目標に準拠した学習評価について理解する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習やグループワークにより、実践的に学習評価についての理解を深める。</p>	<p>（復習：2時間） 目標に準拠した学習評価について復習する。 （予習：2時間） 教材・教具について理解を深めておく。</p>




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】総合的な学習の時間の内容と教育課程の編成 [後半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】総合的な学習の時間の内容と教育課程の編成 [後半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	長岡 知			ナンバリング	PED2405
担当教員	長岡 知、牛尾 直行、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>総合的な学習の時間について、その教育課程の中における位置づけや目標や学習内容等について解説し、探究的な見方・考え方を働かせる総合的な学習の時間の授業の創出に向けた指導計画の作成を通じて、テーマ設定や指導計画、単元計画について考察する。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に示されている総合的な学習の時間の目標や内容等について説明することができる。</li> <li>2. 学習指導要領に基づいた学習指導案を作成できる。</li> <li>3. スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を活用して、具体的な課題探究の教材づくりの演習を通して実践的指導力を身に付ける。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>本講義では、総合的な学習の時間目標や内容等について理解するとともに、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を創出するための具体的な手立てについての理解を深める。講義を通して教員として必要な知識や実践的指導力を身につけることができるよう、本授業では学習指導要領をはじめとする授業実践例を概観し、幅広い知識や教養を講義にて学び、得られた情報をもとに年間指導計画や単元計画を作成し、授業を展開する時に必要な応用力、表現力を身につけることを目指す。この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>将来教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により変更することがある。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>「総合的な学習の時間」指導法は、教職課程における必修科目であるので、必ず履修をすること。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>授業態度や取り組み姿勢等、毎時の課題提出、単元計画・学習指導案作成、定期試験にて評価する。なお、授業態度・取り組み姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に示されている目標や内容等を理解し、効果的な総合的な学習の時間の授業を作成するための基本的な考え方と進め方について理解できているか、毎時の課題提出で評価する。（平常点）</li> <li>2. 授業実践に向けた学習指導案の書き方が理解できているか、学習指導案の提出で評価する。（レポート）</li> <li>3. 課題探究の教材づくり等のグループワークに主体的・対話的に参加しているか、授業中の発言やワークシート、予習復習の取組状況によって受講態度を評価する。（平常点）</li> <li>4. 定期試験を実施する。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[試験、レポート等の課題に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業にて返却し、模範回答や評価のポイントを提示しながら解説する。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間	文部科学省	東山書房	978-4-8278-1561-0	平成30年3月発行
	高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間	文部科学省	学校図書	978-4-7625-0536-2	平成31年3月発行
参考文献					
<p>[参考書等]</p> <p>授業の際に提示する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>長岡 Email:tm-nagaoka@juntendo.ac.jp 牛尾 Email:n-ushio@juntendo.ac.jp</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>長岡：火曜日 12:50～14:30 1号館4階1416号室 牛尾：月曜日～木曜日 12:00～12:50 1号館1220号室</p> <p>※上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。</p>				
担当教員の実務経歴	<p>[実務経験のある教員による授業]</p> <p>学校現場（高等学校）・教育行政（指導主事）において保健体育教員、担任業務、指導行政にあっていた経験を生かし、学校現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説します。</p>				

備考		<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] この授業科目は、中学校教諭1免許状（保健体育）並びに高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教育の基礎的理解に関する科目等」における必修科目として位置づけられている。また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>		
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長岡	<p>[授業内容] テーマ：ガイダンス ・総合的な学習の時間（現状と課題） ・授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する</p>	<p>[授業方法] スライド講義、グループワーク ペア学習により、総合的な学習の時間について意見を出し合う。</p>	<p>（予習：2時間） ・総合的な学習の時間の授業を振りかえり、自分なりの課題を見だし、受講の心構えを確認する。 （復習：3時間） ・総合的な学習の時間の意義を踏まえ、今後の学習の見通しを立て、学習内容について概観し、整理する。</p>
2	牛尾	<p>[授業内容] テーマ：学校教育課程と学習指導要領 学習指導要領の変遷と法的性格について概説し、総合的な学習の時間を通して学力・資質能力を育成するための教育課程の編成についての理解を深める。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。 （予習：2時間） 総合的な学習の時間の目標の構成や趣旨について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
3	牛尾	<p>[授業内容] テーマ：目標論・学力論 総合的な学習の時間の創設された背景や意義、目標について概説し、総合的な学習の時間を通して育てる学力・資質能力について理解を深める。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を読み、理解を深める。 （予習：2時間） 総合的な学習の時間の創設の背景や目標の変遷について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
4	牛尾	<p>[授業内容] テーマ：教材論・カリキュラム開発 授業を進める上で教材とは何か、教材開発の手法及びカリキュラムの意義と役割について理解を深める。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。 （予習：2時間） 保健の指導内容について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
5	長岡	<p>[授業内容] テーマ：内容論 各学校において定める目標及び内容について解説し、課題に基づき整理する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（復習：3時間） 総合的な学習の時間の目標及び内容の設定について理解を深める。 （予習：2時間） 自分の関心のある探究課題を選択し、指導計画について構造的にまとめる。</p>
6	長岡	<p>[授業内容] テーマ：指導計画 総合的な学習の時間における指導計画の作成方法について理解し、単元計画を作成する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習により、指導計画・単元計画作成の意義についての理解を深める。</p>	<p>（復習：3時間） 総合的な学習の時間の基礎的条件、内容的条件について、整理する。 （予習：2時間） 総合的な学習の時間の指導方法について、学習指導要領解説書を読み、理解を深めておく</p>
7	長岡	<p>[授業内容] テーマ：学習指導論 探求的な見方・考え方を働かす総合的な学習の時間とは何かを考え、総合的な学習の時間の基礎的条件と内容的条件について理解する。</p>	<p>[授業方法] グループワーク、プリントとスライドを用いて講義を進める。グループ・ディスカッションを通じて、探求的な見方・考え方とは何かについて意見交換し理解を深める。</p>	<p>（復習：3時間） 総合的な学習の時間の基礎的条件、内容的条件について、整理する。 （予習：2時間） 総合的な学習の時間の観点別評価について理解を深めておく。</p>
8	長岡	<p>[授業内容] テーマ：学習評価 総合的な学習の時間における目標に準拠した学習評価について理解する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習やグループワークにより、実践的に学習評価についての理解を深める。</p>	<p>（復習：2時間） 目標に準拠した学習評価について復習する。 （予習：2時間） 教材・教具について理解を深めておく。</p>





科目名	【新カリ】学校経営論 [前半]	授業形態	講義	
英語科目名	【新カリ】学校経営論 [前半]	対象学年	3年	
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位	
代表教員	阿部 博之	ナンバリング	PED3406	
担当教員	阿部 博之、小野 まどか、スポーツ健康科学部教員共通			
授業概要				
全体内容	現代の学校教育に関する社会的・制度的又は経営的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。具体的には、学校の機能・学校と教育行政・教員の専門性・学習指導と教育課程・学校事務・施設設備と学校財務・接遇・学校の危機管理・地域住民や保護者の学校への期待・体罰防止などを理解し、教員としての資質を養う。 この授業は講義とグループ討議（演習）の二本立てとし、意見交換を積極的に行う。加えて毎時、既習内容の確認テストを実施する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒・保護者・教員とのコミュニケーションを円滑に行うことができる。</li> <li>2. 組織としての学校の特質と学校運営の仕方を理解し、これからの学校はどうあるべきか、学校経営の在り方を説明できる。</li> <li>3. 生徒指導の要点を説明できる。</li> <li>4. 学級経営の要点を説明できる。</li> <li>5. 学校の危機管理（クレーム対応を含む）について説明できる。</li> <li>6. 体罰防止、生徒がやる気になる部活動の指導について説明できる。</li> </ol>			
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>			
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 中学校や高等学校の教員を目指したい人は勿論のこと、教職に対して興味・関心を持っている人が受講すること。			
成績評価の方法				
評価方法	次のとおり評価し、到達目標を踏まえた上で総合的に判断して単位を付与する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎となる評価：期末試験の成績、授業態度</li> <li>2. 積み上げとなる評価：毎時行う確認テストとグループ討議の報告の提出状況と質的内容、授業への積極的参加度</li> <li>3. 定期考査50%、確認テスト20%、グループ討議報告20%、授業への積極的参加態度10%により総合的に評価する。</li> </ol>			
評価基準	以下の講義で理解し、説明できること。（平常点・グループ討議） <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教師の主たる仕事とは何かを説明できるか。</li> <li>2. 学校の管理・運営とは何かを説明できるか。</li> <li>3. 校務分掌を理解し、編成の要点を説明できるか。</li> <li>4. 教育課程とは何か、編成の要点を説明できるか。</li> <li>5. 学級経営の要点を説明できるか。</li> <li>6. 生徒指導体制の確立について説明できるか。</li> <li>7. 学校の危機管理について説明できるか。</li> <li>8. 体罰のない、生徒がやる気になる部活動の指導の在り方について説明できるか。</li> </ol>			
試験・課題に対するフィードバック方法				
毎時、確認テストを実施し、前回分の解答と解説を行う。 定期考査の模範解答はJ-PASS上で示す。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献				
<p>【テキスト・参考書等】</p> <p>テキストは特になし。授業時にプリントを配付する。</p> <p>参考書・参考資料：「教育小六法」、「学校経営を論ずる各種書籍」、  中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）  中学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月 文部科学省）  高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）  高等学校学習指導要領解説 総則編（平成30年7月 文部科学省）  評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（教育課程研究センター）  千葉県立学校の管理運営に関する規則（千葉県教育委員会）「母校の学校要覧」「教育関連ニュースや記事」</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：阿部 博之  E-mail:h-abe618@xa2.so-net.ne.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>木曜日の12時30分～12時50分と14時30分～15時</p>			

担当教員の実務経験	高等学校教諭・教頭・校長としての勤務経験に基づき、学校経営に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。			
備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育の基礎的理解に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等： 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：授業の進め方と受講心得 教育とは、学校とは、学校教育とは 学校の種類、学校の設置者、これからの学校の在り方。</p> <p>【授業方法】 授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、これからの学校の在り方についてグループ(以下「G」と表記) 討議をする。</p>		<p>(予習：2時間) 教育とは何か、学校教育とは何か、さらに、学校の種類や学校の設置者について調べておくこと（参考：「教育基本法」「学校教育法」など）。</p> <p>(復習：2時間) 授業全体のイメージを掴むこと。また、学校教育は様々な法規等で定められていることを確認し、「教育」「学校」「学校の種類」「学校の設置者」を確認して整理しておくこと。また、なぜ学ぶのかをしっかりと考えること。</p>
2	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：学校教育と教育法規 憲法・教育基本法・地方公務員法・教育公務員特例法・学校教育法等・服務事故事例研究</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>		<p>(予習：2時間) 学校教育を規定する法規を読み込んでおくこと。特に教育に関わる憲法・教育基本法にどのようなことが記載されているかを調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 教育や教職員に関わる様々な法規等を確認し整理しておくこと。体罰防止について確認し整理しておくこと。</p>
3	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：教育行政と学校、教育委員会制度 地方教育行政の組織及び運営に関する法律と学校の関係、新しい教育委員会制度。日本の学校教育の優れている点と改善すべき点。</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、日本の学校教育の優れている点と改善すべき点（欧米と比較して）についてG討議をする。</p>		<p>(予習：2時間) 教育委員会制度の変遷、教育委員会と学校の関係はどの法規に定められているのか、内容についても調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 教育委員会と学校の関わりについて確認し整理しておくこと。日本の学校教育の不易と流行について確認し整理しておくこと。</p>
4	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：学校経営と組織マネジメント その①学校の管理・運営、学校経営方針、学校経営組織</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、どんな学校を創りたいか（学校経営方針）について個人研究をする。</p>		<p>(予習：2時間) 学校の管理・運営の内容について調べておくこと。母校の学校教育目標についても調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 学校の管理・運営について確認し整理しておくこと。また、学校ごとに定められている学校教育目標について、母校のものを確認し整理しておくこと。</p>
5	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：学校経営と組織マネジメント その② 組織マネジメント、学校経営戦略、学級経営・学年経営、私の理想の教師像、学校経営に当たっての基本的な事項</p> <p>【授業方法】 確認テスト、個人研究発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校経営に当たっての基本的な事（4つの側面）についてG討議をする。</p>		<p>(予習：2時間) 学校の管理・運営組織の内容を調べておくこと。4Mの条件やPDCAサイクルの内容を調べておくこと。成果を挙げている学校の経営戦略を調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 4Mの条件やPDCAサイクルを確認し整理しておくこと。自分の目指す教師像を確立すること。</p>
6	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：学校の組織 校務分掌の決定、職員会議の機能・運営、主任の役割、桃太郎を学校経営に例えと</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、桃太郎の家来の能力、鬼退治を学校経営に例えとどうなるかについてG討議をする。</p>		<p>(予習：2時間) 校務分掌とは何か。職員会議とは何かについて調べておくこと。「千葉県立学校の管理運営に関する規則」や母校の学校要覧（又は学校案内）に目を通しておくこと。加えて、主任の役割について調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 校務分掌について整理しておくこと。職員会議の位置付けについて確認し整理しておくこと。また、主任の役割についても確認し整理しておくこと。また、桃太郎の鬼退治と学校経営について確認し整理しておくこと。</p>

7	浅野	<p>【授業内容】          テーマ：教育課程に関わる組織運営、学習指導に関わる組織運営、学力（学力の樹）とは、深い学び、進路実現の戦略</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、①深い学び②進路実現の戦略についてG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          [中学校・高等学校学習指導要領解説総編]の「指導計画の作成」を調べておくこと。第3章第5節「教育課程実施上の配慮事項」について調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間)          学校の大きな柱である「学習指導」の指導計画・編成とそれに関わる組織について確認し整理しておくこと。また、深い学びについて確認し整理しておくこと。</p>
8	浅野	<p>【授業内容】          テーマ：生徒指導に関わる組織運営          学級経営・特別活動・問題行動・子どもの心のサイン、心の居場所</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、いじめ防止としての「心の居場所づくり」についてG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          生徒指導に関わる組織として、学級経営・特別活動について調べておくこと。また、問題行動について調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間)          生徒理解の上で成り立つ生徒指導について、その内容と組織的に実施されていること、さらに、いじめ防止としての絆づくりと居場所づくりについて確認し整理しておくこと。</p>
9	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：学校事務、施設・設備と学校財務、服務事故事例研究</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          学校事務の果たす役割について調べておくこと。学校の施設・設備の管理について調べておくこと。また、学校の財務について調べておくこと。</p> <p>(復習：3時間)          学校財務の果たす役割について確認し整理しておくこと。施設・設備の管理について確認し整理しておくこと。会計の適正管理について確認し整理しておくこと。</p>
10	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：学校の危機管理その①          危機管理とは、防犯、交通安全、服務事故事例研究</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          学校の危機管理とは何か、自分の考えをまとめておくこと。具体的に、防犯、交通安全の内容を調べておくこと。</p> <p>(復習：3時間)          危機管理とは何か、防犯、交通安全の内容を確認し、対応策を実践できるようにするために整理しておくこと。</p>
11	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：学校の危機管理その②          食物アレルギー、心臓突然死、災害安全、服務事故事例研究</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          学校の危機管理として、食物アレルギーや心臓突然死、災害安全の内容を調べておくこと。また、対応策を考えておくこと。</p> <p>(復習：3時間)          学校の危機管理の内容（食物アレルギー、心臓突然死、災害安全）について確認し、対応策を実践できるようにするために整理しておくこと。</p>
12	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：接遇とクレーム対応          気持ちよい接遇、保護者や地域の方からのクレーム対応、危機管理事例研究</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、危機管理事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          来校者に失礼のない接遇の仕方を調べておくこと。どんなクレームがあるか調べ、対応策を考えておくこと。</p> <p>(復習：3時間)          学校の印象を左右する接遇の仕方を確認し、実践できるようにするために整理しておくこと。また、クレーム対応ができるようにするために対応策を確認し整理しておくこと。</p>
13	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：学校自己評価、生徒・保護者の評価、学校評議員、PTA、学校危機管理事例研究、学校と地域との連携の意義、地域との協働の仕方、開かれた学校づくり</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校危機管理に関する事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          学校自己評価や生徒・保護者等の評価の内容を調べておくこと。学校評議員会の内容を調べておくこと。PTAについて調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間)          授業で解説した地域との連携・協働の意義と方法の内容を踏まえ、学校自己評価とSWOT分析、生徒・保護者等の評価が行われる根拠と内容、生かし方、さらに学校評議員会やPTAの活用の仕方について確認し整理しておくこと。</p>



科目名	【新カリ】学校経営論 [後半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】学校経営論 [後半]	対象学年	3年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	阿部 博之	ナンバリング	PED3406		
担当教員	阿部 博之、小野 まどか、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	現代の学校教育に関する社会的・制度的又は経営的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。具体的には、学校の機能・学校と教育行政・教員の専門性・学習指導と教育課程・学校事務・施設設備と学校財務・接遇・学校の危機管理・地域住民や保護者の学校への期待・体罰防止などを理解し、教員としての資質を養う。 この授業は講義とグループ討議（演習）の二本立てとし、意見交換を積極的に行う。加えて毎時、既習内容の確認テストを実施する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒・保護者・教員とのコミュニケーションを円滑に行うことができる。</li> <li>2. 組織としての学校の特質と学校運営の仕方を理解し、これからの学校はどうあるべきか、学校経営の在り方を説明できる。</li> <li>3. 生徒指導の要点を説明できる。</li> <li>4. 学級経営の要点を説明できる。</li> <li>5. 学校の危機管理（クレーム対応を含む）について説明できる。</li> <li>6. 体罰防止、生徒がやる気になる部活動の指導について説明できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>				
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 中学校や高等学校の教員を目指したい人は勿論のこと、教職に対して興味・関心を持っている人が受講すること。				
成績評価の方法					
評価方法	次のとおり評価し、到達目標を踏まえた上で総合的に判断して単位を付与する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎となる評価：期末試験の成績、授業態度</li> <li>2. 積み上げとなる評価：毎時行う確認テストとグループ討議の報告の提出状況と質的内容、授業への積極的参加度</li> <li>3. 定期考査50%、確認テスト20%、グループ討議報告20%、授業への積極的参加態度10%により総合的に評価する。</li> </ol>				
評価基準	以下の講義で理解し、説明できること。（平常点・グループ討議） <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教師の主たる仕事とは何かを説明できるか。</li> <li>2. 学校の管理・運営とは何かを説明できるか。</li> <li>3. 校務分掌を理解し、編成の要点を説明できるか。</li> <li>4. 教育課程とは何か、編成の要点を説明できるか。</li> <li>5. 学級経営の要点を説明できるか。</li> <li>6. 生徒指導体制の確立について説明できるか。</li> <li>7. 学校の危機管理について説明できるか。</li> <li>8. 体罰のない、生徒がやる気になる部活動の指導の在り方について説明できるか。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
毎時、確認テストを実施し、前回分の解答と解説を行う。 定期考査の模範解答はJ-PASS上で示す。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>テキストは特になし。授業時にプリントを配付する。</p> <p>参考書・参考資料：「教育小六法」、「学校経営を論ずる各種書籍」、  中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）  中学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月 文部科学省）  高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）  高等学校学習指導要領解説 総則編（平成30年7月 文部科学省）  評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（教育課程研究センター）  千葉県立学校の管理運営に関する規則（千葉県教育委員会）「母校の学校要覧」「教育関連ニュースや記事」</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 担当：阿部 博之 E-mail:h-abe618@xa2.so-net.ne.jp 【オフィスアワー】 木曜日の12時30分～12時50分と14時30分～15時				
担当教員の実務経験	高等学校教諭・教頭・校長としての勤務経験に基づき、学校経営に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。				

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】  中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目  科目：教育の基礎的理解に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）  施行規則に定める科目区分又は事項等：  教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	浅野	<p>【授業内容】  テーマ：授業の進め方と受講心得  教育とは、学校とは、学校教育とは  学校の種類、学校の設置者、これからの学校の在り方。</p> <p>【授業方法】  授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、これからの学校の在り方についてグループ(以下「G」と表記) 討議をする。</p>		<p>(予習：2時間)  教育とは何か、学校教育とは何か、さらに、学校の種類や学校の設置者について調べておくこと（参考：「教育基本法」「学校教育法」など）。</p> <p>(復習：2時間)  授業全体のイメージを掴むこと。また、学校教育は様々な法規等で定められていることを確認し、「教育」「学校」「学校の種類」「学校の設置者」を確認して整理しておくこと。また、なぜ学ぶのかをしっかりと考えること。</p>
2	浅野	<p>【授業内容】  テーマ：学校教育と教育法規  憲法・教育基本法・地方公務員法・教育公務員特例法・学校教育法等・服務事故事例研究</p> <p>【授業方法】  確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>		<p>(予習：2時間)  学校教育を規定する法規を読み込んでおくこと。特に教育に関わる憲法・教育基本法にどのようなことが記載されているかを調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間)  教育や教職員に関わる様々な法規等を確認し整理しておくこと。体罰防止について確認し整理しておくこと。</p>
3	浅野	<p>【授業内容】  テーマ：教育行政と学校、教育委員会制度  地方教育行政の組織及び運営に関する法律と学校との関係、新しい教育委員会制度。日本の学校教育の優れている点と改善すべき点。</p> <p>【授業方法】  確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、日本の学校教育の優れている点と改善すべき点（欧米と比較して）についてG討議をする。</p>		<p>(予習：2時間)  教育委員会制度の変遷、教育委員会と学校との関係はどの法規に定められているのか、内容についても調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間)  教育委員会と学校の関わりについて確認し整理しておくこと。日本の学校教育の不易と流行について確認し整理しておくこと。</p>
4	浅野	<p>【授業内容】  テーマ：学校経営と組織マネジメント  その①学校の管理・運営、学校経営方針、学校経営組織</p> <p>【授業方法】  確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、どんな学校を創りたいか（学校経営方針）について個人研究をする。</p>		<p>(予習：2時間)  学校の管理・運営の内容について調べておくこと。母校の学校教育目標についても調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間)  学校の管理・運営について確認し整理しておくこと。また、学校ごとに定められている学校教育目標について、母校のものを確認し整理しておくこと。</p>
5	浅野	<p>【授業内容】  テーマ：学校経営と組織マネジメント  その② 組織マネジメント、学校経営戦略、学級経営・学年経営、私の理想の教師像、学校経営に当たっての基本的な事項</p> <p>【授業方法】  確認テスト、個人研究発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校経営に当たっての基本的な事（4つの側面）についてG討議をする。</p>		<p>(予習：2時間)  学校の管理・運営組織の内容を調べておくこと。4Mの条件やPDCAサイクルの内容を調べておくこと。成果を挙げている学校の経営戦略を調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間)  4Mの条件やPDCAサイクルを確認し整理しておくこと。自分の目指す教師像を確立すること。</p>
6	浅野	<p>【授業内容】  テーマ：学校の組織  校務分掌の決定、職員会議の機能・運営、主任の役割、桃太郎を学校経営に例えると</p> <p>【授業方法】  確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、桃太郎の家来の能力、鬼退治を学校経営に例えるとどうなるかについてG討議をする。</p>		<p>(予習：2時間)  校務分掌とは何か。職員会議とは何かについて調べておくこと。「千葉県立学校の管理運営に関する規則」や母校の学校要覧（又は学校案内）に目を通しておくこと。加えて、主任の役割について調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間)  校務分掌について整理しておくこと。職員会議の位置付けについて確認し整理しておくこと。また、主任の役割についても確認し整理しておくこと。また、桃太郎の鬼退治と学校経営について確認し整理しておくこと。</p>

7	浅野	<p>【授業内容】          テーマ：教育課程に関わる組織運営、学習指導に関わる組織運営、学力（学力の樹）とは、深い学び、進路実現の戦略</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、①深い学び②進路実現の戦略についてG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          [中学校・高等学校学習指導要領解説総編]の「指導計画の作成」を調べておくこと。第3章第5節「教育課程実施上の配慮事項」について調べておくこと。          (復習：2時間)          学校の大きな柱である「学習指導」の指導計画・編成とそれに関わる組織について確認し整理しておくこと。また、深い学びについて確認し整理しておくこと。</p>
8	浅野	<p>【授業内容】          テーマ：生徒指導に関わる組織運営          学級経営・特別活動・問題行動・子どもの心のサイン、心の居場所</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、いじめ防止としての「心の居場所づくり」についてG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          生徒指導に関わる組織として、学級経営・特別活動について調べておくこと。また、問題行動について調べておくこと。          (復習：2時間)          生徒理解の上で成り立つ生徒指導について、その内容と組織的に実施されていること、さらに、いじめ防止としての絆づくりと居場所づくりについて確認し整理しておくこと。</p>
9	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：学校事務、施設・設備と学校財務、服務事故事例研究</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          学校事務の果たす役割について調べておくこと。学校の施設・設備の管理について調べておくこと。また、学校の財務について調べておくこと。          (復習：3時間)          学校財務の果たす役割について確認し整理しておくこと。施設・設備の管理について確認し整理しておくこと。会計の適正管理について確認し整理しておくこと。</p>
10	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：学校の危機管理その①          危機管理とは、防犯、交通安全、服務事故事例研究</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          学校の危機管理とは何か、自分の考えをまとめておくこと。具体的に、防犯、交通安全の内容を調べておくこと。          (復習：3時間)          危機管理とは何か、防犯、交通安全の内容を確認し、対応策を実践できるようにするために整理しておくこと。</p>
11	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：学校の危機管理その②          食物アレルギー、心臓突然死、災害安全、服務事故事例研究</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          学校の危機管理として、食物アレルギーや心臓突然死、災害安全の内容を調べておくこと。また、対応策を考えておくこと。          (復習：3時間)          学校の危機管理の内容（食物アレルギー、心臓突然死、災害安全）について確認し、対応策を実践できるようにするために整理しておくこと。</p>
12	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：接遇とクレーム対応          気持ちよい接遇、保護者や地域の方からのクレーム対応、危機管理事例研究</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、危機管理事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          来校者に失礼のない接遇の仕方を調べておくこと。どんなクレームがあるか調べ、対応策を考えておくこと。          (復習：3時間)          学校の印象を左右する接遇の仕方を確認し、実践できるようにするために整理しておくこと。また、クレーム対応ができるようにするために対応策を確認し整理しておくこと。</p>
13	阿部	<p>【授業内容】          テーマ：学校自己評価、生徒・保護者の評価、学校評議員、PTA、学校危機管理事例研究、学校と地域との連携の意義、地域との協働の仕方、開かれた学校づくり</p> <p>【授業方法】          確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校危機管理に関する事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間)          学校自己評価や生徒・保護者等の評価の内容を調べておくこと。学校評議員会の内容を調べておくこと。PTAについて調べておくこと。          (復習：2時間)          授業で解説した地域との連携・協働の意義と方法の内容を踏まえ、学校自己評価とSWOT分析、生徒・保護者等の評価が行われる根拠と内容、生かし方、さらに学校評議員会やPTAの活用の仕方について確認し整理しておくこと。</p>



科目名	【新カリ】教職概論 [前半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】教職概論 [前半]			対象学年	1年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	牛尾 直行			ナンバリング	PED1402
担当教員	牛尾 直行、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本授業は、教職に関する基礎的・基本的な知識や原理を系統的に取り上げ、教職の意義と役割について総合的に考察し、その理解を深める。教員養成の歴史と理念、教員の職務、現代の子どもの荒れ、学校・家庭・地域の連携と「チーム学校」、教員の研修と専門職性、いじめと子どもの人権、教員のバーンアウトとソーシャルスキル、学校安全、求められる授業力、人権教育、教員免許制度と求められる教師像などについて学び、教職の意義・役割・職務内容などを具体的に学修する。</p>				
到達目標	<p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らの教職への意思を明確にすることができ、自分の将来の進路として教職を認識することができる。</li> <li>2. 教員として働く際の様々な知識・仕組みを理解し、実践する基礎を培うことができる。</li> <li>3. 教職の意義や社会的な役割を説明することができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <p>本科目は教育実習に行く前に必ず単位取得していなければならない教職ハードル科目である。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験50%、毎回の授業時の提出物30%、予復習の提出課題20%で総合的に評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予復習も含めて授業に積極的に参加し、その成果を自らの進路選択に活かしているか。（毎回の授業後提出物、課題）</li> <li>2. 教職についての様々な知識・仕組みを理解できているか。（最終試験、課題）</li> <li>3. 現代の日本社会で教職に就いて働く意義や求められている役割を理解し、実践する基礎を身に付けられたか。（毎回の授業後提出物、課題）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>課題に対するフィードバックは、講義内で解説をする。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	実践に活かす教育基礎論・実践論	牛尾直行、樋口直弘	学事出版	987-4-7619-1757-9	授業中に指示
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：牛尾 直行（1号館2F1220 教育学研究室）</p> <p>E-mail：n-ushio@juntendo.ac.jp（*を@に修正してください）</p> <p>【オフィスアワー】 月～木のお昼休み</p>				
担当教員の実際経験					
備考	<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容で構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目（教育の基礎的理解に関する科目）である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画の変更をお願いする可能性があります。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	牛尾	<p>テーマ：先生という仕事の魅力</p> <p>本講義の概要、教職とは、教職をめぐる社会的動向、魅力とやりがいについて学び、教職の魅力について明確に認識する。</p> <p>スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	<p>（復習：1時間）</p> <p>講義ノートの復習と、身近な友人と「なぜ、どんな教員になるのか？」を話し合う</p>	
2	牛尾	<p>テーマ：教員養成の歴史と理念</p> <p>近代学校創設と教員養成、師範学校、戦後の教員養成、教育職員免許法を学ぶことにより、現代日本の開放制教員養成制度の特質について整理する。</p>	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	<p>（予習：1時間）</p> <p>配布するプリントを予め読んでおくこと</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>視聴するVTRのURLを指定するので、それを視聴し、レポート課題①を作成する。</p>	





科目名	【新カリ】教職概論 [後半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】教職概論 [後半]			対象学年	1年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	牛尾 直行			ナンバリング	PED1402
担当教員	牛尾 直行、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本授業は、教職に関する基礎的・基本的な知識や原理を系統的に取り上げ、教職の意義と役割について総合的に考察し、その理解を深める。教員養成の歴史と理念、教員の職務、現代の子どもの荒れ、学校・家庭・地域の連携と「チーム学校」、教員の研修と専門職性、いじめと子どもの人権、教員のバーンアウトとソーシャルスキル、学校安全、求められる授業力、人権教育、教員免許制度と求められる教師像などについて学び、教職の意義・役割・職務内容などを具体的に学修する。</p>				
到達目標	<p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らの教職への意思を明確にすることができ、自分の将来の進路として教職を認識することができる。</li> <li>2. 教員として働く際の様々な知識・仕組みを理解し、実践する基礎を培うことができる。</li> <li>3. 教職の意義や社会的な役割を説明することができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <p>本科目は教育実習に行く前に必ず単位取得していなければならない「教育実習の受講資格」必須科目である。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験50%、毎回の授業時の提出物30%、予復習の提出課題20%で総合的に評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予復習も含めて授業に積極的に参加し、その成果を自らの進路選択に活かしているか。（毎回の授業後提出物、課題）</li> <li>2. 教職についての様々な知識・仕組みを理解できているか。（最終試験、課題）</li> <li>3. 現代の日本社会で教職に就いて働く意義や求められている役割を理解し、実践する基礎を身に付けられたか。（毎回の授業後提出物、課題）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>課題に対するフィードバックは、講義内で解説をする。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	実践に活かす教育基礎論・実践論	牛尾直行、樋口直弘	学事出版	987-4-7619-1757-9	授業中に指示
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：牛尾 直行（1号館2F1220 教育学研究室）</p> <p>E-mail：n-ushio@juntendo.ac.jp（*を@に修正してください）</p> <p>【オフィスアワー】 月～木のお昼休み</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容で構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目（教育の基礎的理解に関する科目）である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画の変更をお願いする可能性があります。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	牛尾	<p>テーマ：先生という仕事の魅力</p> <p>本講義の概要、教職とは、教職をめぐる社会的動向、魅力とやりがいについて学び、教職の魅力について明確に認識する。</p> <p>スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	<p>（復習：1時間）</p> <p>講義ノートの復習と、身近な友人と「なぜ、どんな教員になるのか？」を話し合う</p>	
2	牛尾	<p>テーマ：教員養成の歴史と理念</p> <p>近代学校創設と教員養成、師範学校、戦後の教員養成、教育職員免許法を学ぶことにより、現代日本の開放制教員養成制度の特質について整理する。</p>	スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。	<p>（予習：1時間）</p> <p>配布するプリントを予め読んでおくこと</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>視聴するVTRのURLを指定するので、それを視聴し、レポート課題①を作成する。</p>	





科目名	【新カリ】 道徳の理論及び指導法 【前半】			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】 道徳の理論及び指導法 【前半】			対象学年	3年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	牛尾 直行			ナンバリング	PED3407
担当教員	牛尾 直行、三間 芳弘、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付けることを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>過去に受けた道徳の授業をふり振り返り、現在に至る自己への影響と、自分にとってのキーパーソンの存在を確認し、道徳の本質（道徳とは何か）について説明することができる。</li> <li>道徳教育の歴史の変遷や現代社会における道徳的課題について理解を深め、子供の心の成長と道徳性の発達について説明することができる。</li> <li>学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容について理解を深め、指導計画の作成に当たっては教育活動全体を通じた指導の必要性について説明することができる。</li> <li>道徳科における教材の特徴を踏まえて、多様な指導方法の特徴を理解し、授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。</li> <li>模擬授業に実践を通じて学習評価の在り方に理解し、授業改善の視点を養い、実践的な指導力を身につける。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学に関連した教養」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 指導者や教員を目指すための強い意志があること。				
成績評価の方法					
評価方法	授業態度や取り組み姿勢等30%、毎時の課題提出20%、グループワーク等への積極的参加30%、課題レポート10%、定期試験10%にて評価する。なお、授業態度・取り組み姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。				
評価基準	<p>態度：積極的に発表し、根拠示して自分の考えを述べる。（平常点）</p> <p>課題：内容を的確に把握し、対象者の感情を理解しながら取り組める。（平常点）</p> <p>レポート：根拠を示し、問題の背景を理論的に考察し、他人の意見を受容し、自分の考えをまとめている。（レポート）</p> <p>授業態度や取り組み姿勢等30%、毎時の課題提出20%、グループワーク等への積極的参加30%、課題レポート10%、定期試験10%にて評価する。なお、授業態度・取り組み姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
適宜授業中にフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）</p> <p>中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編（平成29年7月 文部科学省）</p> <p>高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）</p> <p>心のノート（文部科学省）、私たちの道徳（文部科学省）</p> <p>毎時、授業に関するプリントを配布する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：牛尾 直行（1号館2F1220 教育学研究室）</p> <p>E-mail：n-ushio@juntendo.ac.jp</p> <p>（＊を@に修正してください）</p> <p>【オフィスアワー】 月～木のお昼休み</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容を持って構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>中学校教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目</p> <p>高等学校教諭1種免許（保健体育）取得するための選択科目</p> <p>科目：道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）</p> <p>施行規則に定める科目区分又は事項等：道徳の理論及び指導法</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性があります。</p>				
授業計画					

授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	牛尾 三間	オリエンテーション。過去に自身が受けた道徳の授業を振り返り、他者と比較する。周囲の学生と体験について話し合う。	講義及びグループワーク	(予習：2時間) 自己の経験した道徳授業を振り返り、学制ごとにまとめる。 (復習：1時間) 自身の現在に至るキーパーソンの存在を再確認する。
2	牛尾	道徳の位置づけと変遷、改訂前後の学習指導要領、教育課程の編成、道徳教育の法的根拠。道徳性とは。スライドにより法的根拠等を解説する。道徳性について考えさせる。	講義	(予習：2時間) 「道徳」の教育課程上の位置づけを調べる。 (復習：2時間) 法的根拠をまとめる。
3	牛尾	道徳教育の内容項目4観点。教育課程の編成と道徳的実践力。資料及びスライドをもとに「特別の教科道徳」の内容項目を解説する。	講義	(予習：2.5時間) 戦後の道徳教育の変遷を調べる。 (復習：2時間) 学校教育、道徳教育の法的根拠を調べる。
4	三間	道徳教育と性格の多面的側面。リフレーミングにより自己の性格を考える。自己分析や他者理解を通し、その特性を多面的に捉える。	講義およびグループワーク	(予習：2時間) 学習指導要領「特別の教科道徳」を読み込む。 (復習：2時間) 自己の性格を分析し、多面的に観察して自己理解を深める。
5	三間	年間指導計画の作成及と作成上の留意点。	講義および映像視聴	(予習：2時間) 学習指導案の形式を調べる。 (復習：2時間) 改訂前後の学習指導要領を比較する。
6	三間	道徳の学習指導案を各自が作成する。またそれを相互に発表しあう。	グループワーク	(予習：2時間) いろいろな学習指導案を調べる。 (復習：2時間) 作成した指導案を推敲する。
7	牛尾 三間	中央教育審議会答申内容と今後の計画を理解する。教科化の背景や流れを知る。	講義および映像視聴	(予習：2時間) 改訂学習指導要領「道徳」の評価について調べる。 (復習：2.5時間) 中央教育審議会及び答申内容を調べる。
8	三間	学習指導案の作成、日常生活における道徳的実践力とは	グループワークおよび資料の精読	(予習：2時間) 東日本大震災における福島県の現在の被害状況を調べる。 (復習：2.5時間) 道徳学習指導案をもとに授業中の想定問答の作成。
9	三間	東日本大震災のその後についての理解。	スライドにより福島県の現状を理解し、学習指導案(中学校編)を作成する。	(予習：2.5時間) 福島県教育委員会作成道徳資料「絆」を調べ読み込む。 (復習：2時間) 資料の内容を調査し、指導案を推敲する。
10	三間	東日本大震災のその後についての理解。スライドにより福島県の現状を理解し、学習指導案(高等学校校編)を作成する。	講義およびグループワーク	(予習：2.5時間) 福島県教育委員会作成資料「絆II」を調べ読み込む。 (復習：2.5時間) 資料の内容を調査し、作成した指導案の推敲。
11	三間	指導形態や色々な資料を用いて授業における葛藤の場面を理解する。道徳授業資料の扱いを理解し自作の資料を作成する。	講義およびグループワーク	(予習：2.5時間) 色々な読み物資料を調べる。 (復習：2時間) 色々な葛藤場面を想定した道徳学習指導案を作成する。
12	三間	心に響く道徳資料の作成。「お子様ランチ」(ディズニーランドから)を用いて。読み物資料を活用し、自作の資料を作成する。	講義およびグループワーク	(予習：2.5時間) 自作の資料を使った道徳学習指導案を推敲する。 (復習：2時間) 「心のノート」「私たちの道徳」について調べる。
13	牛尾 三間	自作の資料を用いた学習用指導案の作成。読み物資料の扱いを理解し、自作の資料を用いた模擬授業を実施する。	グループワークおよびプレゼン実施	(予習：2.5時間) 次の時間中の模擬授業の準備。 (復習：2時間) 自作の資料を使った道徳学習指導案の作成。
14	牛尾 三間	自作資料での「特別の教科道徳」学習指導案作成。作成した道徳学習指導案をグループ内で模擬授業方式を発表する。	グループでのプレゼンおよび全体討論。	(予習：2.5時間) 模擬授業の構成を考える。 (復習：2時間) 最終レポートを作成する。



科目名	【新カリ】 道徳の理論及び指導法 【後半】			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】 道徳の理論及び指導法 【後半】			対象学年	3年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	牛尾 直行			ナンバリング	PED3407
担当教員	牛尾 直行、三間 芳弘、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付けることを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>過去に受けた道徳の授業をふり振り返り、現在に至る自己への影響と、自分にとってのキーパーソンの存在を確認し、道徳の本質（道徳とは何か）について説明することができる。</li> <li>道徳教育の歴史の変遷や現代社会における道徳的課題について理解を深め、子供の心の成長と道徳性の発達について説明することができる。</li> <li>学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容について理解を深め、指導計画の作成に当たっては教育活動全体を通じた指導の必要性について説明することができる。</li> <li>道徳科における教材の特徴を踏まえて、多様な指導方法の特徴を理解し、授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。</li> <li>模擬授業に実践を通じて学習評価の在り方に理解し、授業改善の視点を養い、実践的な指導力を身につける。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学に関連した教養」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 指導者や教員を目指すための強い意志があること。				
成績評価の方法					
評価方法	授業態度や取り組み姿勢等30%、毎時の課題提出20%、グループワーク等への積極的参加30%、課題レポート10%、定期試験10%にて評価する。なお、授業態度・取り組み姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。				
評価基準	<p>態度：積極的に発表し、根拠示して自分の考えを述べる。（平常点）</p> <p>課題：内容を的確に把握し、対象者の感情を理解しながら取り組める。（平常点）</p> <p>レポート：根拠を示し、問題の背景を理論的に考察し、他人の意見を受容し、自分の考えをまとめている。（レポート）</p> <p>授業態度や取り組み姿勢等30%、毎時の課題提出20%、グループワーク等への積極的参加30%、課題レポート10%、定期試験10%にて評価する。なお、授業態度・取り組み姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
適宜授業時にフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）</p> <p>中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編（平成29年7月 文部科学省）</p> <p>高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）</p> <p>心のノート（文部科学省）、私たちの道徳（文部科学省）</p> <p>毎時、授業に関するプリントを配布する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：牛尾 直行（1号館2F1220 教育学研究室）</p> <p>E-mail：n-ushio@juntendo.ac.jp</p> <p>（＊を@に修正してください）</p> <p>【オフィスアワー】 月～木のお昼休み</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容を持って構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>中学校教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目</p> <p>高等学校教諭1種免許（保健体育）取得するための選択科目</p> <p>科目：道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）</p> <p>施行規則に定める科目区分又は事項等：道徳の理論及び指導法</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性があります。</p>				
授業計画					

授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	牛尾 三間	オリエンテーション。過去に自身が受けた道徳の授業を振り返り、他者と比較する。周囲の学生と体験について話し合う。	講義及びグループワーク	(予習: 2時間) 自己の経験した道徳授業を振り返り、学制ごとにまとめる。 (復習: 1時間) 自身の現在に至るキーパーソンの存在を再確認する。
2	牛尾	道徳の位置づけと変遷、改訂前後の学習指導要領、教育課程の編成、道徳教育の法的根拠。道徳性とは。スライドにより法的根拠等を解説する。道徳性について考えさせる。	講義	(予習: 2時間) 「道徳」の教育課程上の位置づけを調べる。 (復習: 2時間) 法的根拠をまとめる。
3	牛尾	道徳教育の内容項目4観点。教育課程の編成と道徳的実践力。資料及びスライドをもとに「特別の教科道徳」の内容項目を解説する。	講義	(予習: 2.5時間) 戦後の道徳教育の変遷を調べる。 (復習: 2時間) 学校教育、道徳教育の法的根拠を調べる。
4	三間	道徳教育と性格の多面的側面。リフレーミングにより自己の性格を考える。自己分析や他者理解を通し、その特性を多面的に捉える。	講義およびグループワーク	(予習: 2時間) 学習指導要領「特別の教科道徳」を読み込む。 (復習: 2時間) 自己の性格を分析し、多面的に観察して自己理解を深める。
5	三間	年間指導計画の作成及と作成上の留意点。	講義および映像視聴	(予習: 2時間) 学習指導案の形式を調べる。 (復習: 2時間) 改訂前後の学習指導要領を比較する。
6	三間	道徳の学習指導案を各自が作成する。またそれを相互に発表しあう。	グループワーク	(予習: 2時間) いろいろな学習指導案を調べる。 (復習: 2時間) 作成した指導案を推敲する。
7	牛尾 三間	中央教育審議会答申内容と今後の計画を理解する。教科化の背景や流れを知る。	講義および映像視聴	(予習: 2時間) 改訂学習指導要領「道徳」の評価について調べる。 (復習: 2.5時間) 中央教育審議会及び答申内容を調べる。
8	三間	学習指導案の作成、日常生活における道徳的実践力とは	グループワークおよび資料の精読	(予習: 2時間) 東日本大震災における福島県の現在の被害状況を調べる。 (復習: 2.5時間) 道徳学習指導案をもとに授業中の想定問答の作成。
9	三間	東日本大震災のその後についての理解。	スライドにより福島県の現状を理解し、学習指導案(中学校編)を作成する。	(予習: 2.5時間) 福島県教育委員会作成道徳資料「絆」を調べ読み込む。 (復習: 2時間) 資料の内容を調査し、指導案を推敲する。
10	三間	東日本大震災のその後についての理解。スライドにより福島県の現状を理解し、学習指導案(高等学校校編)を作成する。	講義およびグループワーク	(予習: 2.5時間) 福島県教育委員会作成資料「絆II」を調べ読み込む。 (復習: 2.5時間) 資料の内容を調査し、作成した指導案の推敲。
11	三間	指導形態や色々な資料を用いて授業における葛藤の場面を理解する。道徳授業資料の扱いを理解し自作の資料を作成する。	講義およびグループワーク	(予習: 2.5時間) 色々な読み物資料を調べる。 (復習: 2時間) 色々な葛藤場面を想定した道徳学習指導案を作成する。
12	三間	心に響く道徳資料の作成。「お子様ランチ」(ディズニーランドから)を用いて。読み物資料を活用し、自作の資料を作成する。	講義およびグループワーク	(予習: 2.5時間) 自作の資料を使った道徳学習指導案を推敲する。 (復習: 2時間) 「心のノート」「私たちの道徳」について調べる。
13	牛尾 三間	自作の資料を用いた学習用指導案の作成。読み物資料の扱いを理解し、自作の資料を用いた模擬授業を実施する。	グループワークおよびプレゼン実施	(予習: 2.5時間) 次の時間中の模擬授業の準備。 (復習: 2時間) 自作の資料を使った道徳学習指導案の作成。
14	牛尾 三間	自作資料での「特別の教科道徳」学習指導案作成。作成した道徳学習指導案をグループ内で模擬授業方式を発表する。	グループでのプレゼンおよび全体討論。	(予習: 2.5時間) 模擬授業の構成を考える。 (復習: 2時間) 最終レポートを作成する。



科目名	【新カリ】教育実習			授業形態	実験・実習
英語科目名	【新カリ】教育実習			対象学年	3年
開講学期	2022年度後期			単位数	4単位
代表教員	長登 健			ナンバリング	PED3408
担当教員	長登 健、牛尾 直行、荻原 朋子、長岡 知、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>教育についての理論、教科についての専門的知識・技能、生徒理解など、大学の教職課程で学んだ内容を教育現場で総合的に実践、省察し、理論と実践の往還を通して、教員としての実践的指導力を身に付ける。</p> <p>具体的には、教師として求められている知識・技能を4週間という長期の中学校・高等学校での現場実習によって実践的に身に付ける。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <p>1. 生徒や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習校の生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解している。</p> <p>2. 大学で学んだ教科（保健体育）や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を、各教科や教科外活動の指導場面で実践するための基礎を修得している。</p>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（ジュニアスポーツ指導員）の必修科目、JPSUスポーツトレーナー資格取得にあたっての選択必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>教職課程において必修科目に位置付けられている科目であり、教育についての理論、教科についての専門的な知識・技能、児童生徒理解など、大学の教職課程で学んだ内容を中学校または高等学校の教育現場で総合的に実践し、教師としての実践的な指導力を身に付けるものです。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>本教育実習の履修のためには、事前・事後指導の履修も必修である。学部学生の履修に当たっては、必ず前年度から事前・事後指導を履修し、実習校への打診などの準備を着実に進めること。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>教育実習を実施するためには、各履修年次の到達目標等を勘案し、有意義な教育実習とするために、以下の前年度までに単位習得しておかなければならない「教職ハードル」科目・単位数がある。それを満たせない場合には、教育実習を実施することはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職、教科、その他の科目」のうち27単位以上を取得していること。</li> <li>・次に掲げる科目を単位修得済みであること。</li> </ul> <p>「教職概論」「教育原理」「教育心理学」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」</p> <p>実習中は、「保健体育教育日誌」に記録を詳細に記し、実習終了後は速やかに教務課に提出すること。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>教育実習校において大学が設定した評価項目（教育実習校からの評価）及び出席、実習記録「保健体育実習日誌」などから総合的に評価する。</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <p>1. 教師として求められる知識・技能を身に付けるために精力的に取り組んでいたか。</p> <p>2. 教師として求められる知識・技能について新たな課題を見付けることができたか。</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[試験、レポート等の課題に対するフィードバックの方法]</p> <p>「保健体育実習日誌」を活用しつつ、事前・事後指導において行う。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>[テキスト・参考書等]</p> <p>1. 「学習指導要領（文部科学省）」及び「学習指導要領解説（文部科学省）」</p> <p>2. 「教員免許取得のためのガイドブック（順天堂大学スポーツ健康科学部）」</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	適宜指定する。				
担当教員の実務経験	<p>[実務経験のある教員による授業]</p> <p>この科目は、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かして、科目責任者を担当します。</p>				
備考	<p>[学修時間]</p> <p>実習校での180時間の学修時間を標準とする。</p> <p>[その他]</p> <p>この科目は、中学校および高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教職実践に関する科目」における必修科目として位置づけられています。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法*	予習・復習・レポート課題等と学習時間	




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】事前事後指導			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】事前事後指導			対象学年	3年
開講学期	2022年度後期			単位数	1単位
代表教員	長登 健			ナンバリング	PED3409
担当教員	長登 健、牛尾 直行、荻原 朋子、長岡 知、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>事前指導：実習校との調整や実習の準備について解説するとともに、学習指導案の作成や模擬授業の実施等を行う。</p> <p>事後指導：各自の教育実習を振り返り、教員としての職務や態度などを再確認する。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <p>1. 教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚した上で意欲的に教育実習に参加することができる。</p> <p>2. 教育実習を通して得られた知識や経験をふりかえり、教員免許取得までさらに習得することが必要な知識や技能等を理解している。</p>				
授業の位置づけ	この科目は、中・高保健体育I種免許取得、特別支援学校I種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>教職課程において必修科目に位置付けられている円滑かつ有意義な教育実習を行うための準備、及び実習終了後のまとめを行うものです</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>1. 受講条件</p> <p>各履修年次の到達目標を勘案し、有意義な教育実習とするため、2年次終了時までに履修可能な教職関係科目において、以下の条件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職、教科、その他の科目」のうち27単位以上を取得していること。</li> <li>・以下に掲げる科目を単位修得済みであること。</li> </ul> <p>「教職概論」「教育原理」「教育心理学」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」</p> <p>※教育実習を3年次9月以外に実施した者は、随時事前・事後指導を実施する。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>3年次6月の集中講義をはじめとした事前・事後指導における取り組み姿勢や各種提出物などにより総合的に評価する。</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <p>1. 着実に教育実習に臨む準備を行っているか</p> <p>2. 教育実習後真摯に実習を振り返り、今後の課題を見出しているか。</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[試験、レポート等の課題に対するフィードバックの方法]</p> <p>「教員免許取得のためのガイドブック（順天堂大学スポーツ健康科学部）」を活用しつつ、適宜行う。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>2. テキスト/参考書</p> <p>「学習指導要領（文部科学省）」、「学習指導要領解説（文部科学省）」、「教員免許取得のためのガイドブック（順天堂大学スポーツ健康科学部）」</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	適宜指定する。				
担当教員の実務経験	<p>[実務経験のある教員による授業]</p> <p>この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かして、教育実習に向けての準備、教育実習後の振り返りを指導します。</p>				
備考	<p>[学修時間]</p> <p>実習の授業形態による1単位の授業であり、学修時間は予習、復習を含め45時間を標準とする。</p> <p>[その他]</p> <p>この科目は、中学校および高等学校教諭I種免許状の取得に必要な科目のうち、「教職実践に関する科目」における必修科目として位置づけられています。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法*	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	長登、牛尾、中嶽、荻原、尾高、渡邊	2年次5月 (授業内容) 教育実習の解説、実習校希望調査の実施など	(授業方法) 講義		
	長登、牛尾、中嶽、荻原、尾高、渡邊	3年次4月 (授業内容) 「保健体育科教育実習の記録」についての説明、実習校との調整などについて解説	(授業方法) 講義		
	長登、牛尾、中嶽、荻原、尾高、渡邊	3年次6月（2日間の集中講義） (授業内容) 指導案の作成及び模擬授業の実施	(授業方法) 実習		



---

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】肢体不自由者の心理・病理・生理	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】肢体不自由者の心理・病理・生理	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	飯嶋 正博	ナンバリング	SNE2410		
担当教員	飯嶋 正博、村上 祐介、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】 今、障害者差別解消法の制定により、基礎的環境整備と合理的配慮が、社会に求められ、特に教育においてはインクルーシブ教育の構築のために、肢体不自由者（身体障害者）に対する一層の理解が求められている。この授業では、肢体不自由者（身体障害者）を中心に、彼らの心理的特徴や、行動特性、実際の生活実態、さらに、生理的・病理的特徴を知り、取り巻く社会環境などの基礎的な知識や理解を深めるとともに、かれらとかがかわる教員になるために不可欠な資質も体得する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肢体不自由者（身体障害者）の生涯発達に沿った心理的特徴、行動特性、生活実態、さらに、生理的・病理的特徴を理解し、説明することができる。</li> <li>2. 彼らを取り巻く社会環境を理解するとともに、障害者本人のみならず、彼らの家族や友人、支援する人々の心理も理解できる。</li> <li>3. 心理の科目であるが、関連する法律、医学、教育、動物、科学技術など関連する領域についても理解できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「社会や環境の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識又は技能をもとに課題を解決できる能力」の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「心理学」、「生理学」、「教育心理学」を受講していることが望ましい。</li> <li>2. 自分自身のノートを用いても構わないが、独自に作成されたアクティブ・ラーニング・ノートに基づいて受講する。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平常点（講義中のノートの記載と、予習・復習で行われるノート整理・課題レポートの記載）30%</li> <li>2. 定期試験（出題への知識・理解、さらにその実践的対応力）70%</li> <li>3. 両者の合計100%のうち、60%以上で合格点とする。</li> </ol>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義内容を理解し、ノートに記載出来る。（平常点・レポート）</li> <li>2. 自ら内容を整理し、より深く調べたり、考えたりしたことをノートに記載出来る。（平常点・レポート）</li> <li>3. 習得した知識や理解を説明できる。（定期試験）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブ・ラーニング・ノートは定期試験直前に提出し、評価点を付けて試験後に返却される。</li> <li>2. 定期試験では、設問に対して筆記試験で評価される。</li> </ol>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省）</li> <li>2. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>3. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>4. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>5. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省）</li> </ol> <p>テキストは指定しないが、随時、独自に作成された配布資料に出版や、参考書などを紹介する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：飯嶋 正博 E-mail：mijima[at]juntendo.ac.jp （メールを送る際は、[at]を@に修正してください） 【オフィスアワー】 日時：水・木・金曜日の昼休み12:30から 場所：1号館2階心身障害心理学研究室(1212) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p> <p>【連絡先】 担当：村上 祐介 E-mail：y.murakami.az[at]juntendo.ac.jp （メールを送る際は、[at]を@に修正してください） 【オフィスアワー】 日時：月・木曜日のお昼休み 場所：1号館2階心身障害心理学研究室(1219) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p>				
担当教員の実務経験	特別支援学校での現場経験を活かし、肢体不自由児を中心とした特別支援教育で求められる知識や技能をわかりやすく解説する。				

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の合計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 講義のみでは、実際の様子や心情などを理解することが難しいため、視聴覚教材を多用し、五感や心情に訴えることがある。 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（中心領域：肢、含む領域：知・病）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	飯嶋、村上	<p>【授業内容】 テーマ：オリエンテーション 本授業の目的および目標の解説をし、授業の進め方、特にアクティブ・ラーニング・ノートの活用について説明する。</p>	講義	<p>(復習：4時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。 新聞、各種ニュース、雑誌などで「身体障害」に関連する記事を調べる。</p>
2	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：肢体不自由者への支援 24時間テレビやメイク・ア・ウィッシュなどの活動を紹介し、彼らの夢をかなえるお手伝いの意義を解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「24時間テレビ」のことを調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
3	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：障害の定義と原因 肢体不自由を中心に障害の定義とその原因について、解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 漫画「リアル」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
4	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：肢体不自由の定義 肢体不自由者(身体障害者)の定義、種類、数などを解説する。特に、生理的・病理的特徴を中心に解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「ディズニーのキャラクター」を調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
5	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：脳性まひ 1 脳性まひの定義、種類、原因などその特徴と実際を解説する。 特に、生理的・病理的特徴を中心に解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「脳性まひ」の有名人を調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
6	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：脳性まひ 2 脳性まひの随伴障害について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「脳性まひ」を扱った映画、漫画、小説などを調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
7	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：脊髄損傷 脊髄損傷の心理的特徴、行動特性、生活実態、さらに生理的・病理的特徴を解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「交通事故・スポーツ事故」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
8	村上	<p>【授業内容】 テーマ：筋肉の疾病に起因する障害 筋ジストロフィーの心理的特徴、行動特性、生活実態、さらに生理的・病理的特徴を解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「筋ジストロフィー」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
9	村上	<p>【授業内容】 テーマ：骨および関節の疾病に起因する障害 骨形成不全や多発性関節拘縮症などを取り上げ、心理的特徴、行動特性、生活実態、さらに生理的・病理的特徴を解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「骨形成不全」「多発性関節拘縮症」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
10	村上	<p>【授業内容】 テーマ：欠損、切断、変形などの構造の障害 構造の障害である欠損や切断、変形などについて、心理的特徴、行動特性、生活実態、さらに生理的・病理的特徴を解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「義手」「義足」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
11	村上	<p>【授業内容】 テーマ：リハビリテーション 身体障害者が受けるリハビリテーションについて、生理・病理に基づいた医学的リハビリテーションのみならず教育的、社会的、職業的支援について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「リハビリテーション」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>



---

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】肢体不自由者指導法			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】肢体不自由者指導法			対象学年	3年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	飯嶋 正博			ナンバリング	SNE3413
担当教員	飯嶋 正博、村上 祐介、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	今、障害者差別解消法の制定により、基礎的環境整備と合理的配慮が教育にも求められ、インクルーシブ教育システムの構築のための実践力が教員には求められている。そのためには、「肢体不自由者の心理・病理・生理」で学んだ知識を活かして、より実践的に肢体不自由者への教育・支援が出来るようになる必要がある。この授業科目では、肢体不自由という状態を中心に障害を持つ人とのかかわり方や取りの仕方を理解し、その技術を習得し、さらに各種教育・支援技術も学び、各種の指導計画の作成・実践の方法を修得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害の有無にかかわらず、コミュニケーションをとることができる。</li> <li>2. 肢体不自由者（身体障害者）を中心に、身体的・運動的発達、各種発達の特徴と実態を把握し、説明できる。</li> <li>3. 教育・支援に必要な各種技法を説明でき、簡単な基礎的技術を実践できる。</li> <li>4. 各種指導計画や授業指導案の作成ができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「社会や環境の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識又は技能をもとに課題を解決できる能力」の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「肢体不自由者の心理・病理・生理」を受講していることが望ましい。</li> <li>2. 自分自身のノートを用いても構わないが、独自に作成されたアクティブ・ラーニング・ノートに基づいて受講する。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平常点（講義中のノートの記載と、予習・復習で行われるノート整理・課題レポートの記載）30%</li> <li>2. 定期試験（出題への知識・理解、さらにその実践的対応力）70%</li> <li>3. 両者の合計100%のうち、60%以上で合格点とする。</li> </ol>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義内容を理解し、ノートに記載できる。（平常点・レポート）</li> <li>2. 自ら内容を整理し、より深く調べたり、考えたりしたことノートに記載できる。（平常点・レポート）</li> <li>3. 習得した知識や理解を説明できる。（定期試験）</li> <li>4. 基礎的な教育・支援のための技術が実践できる。（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブ・ラーニング・ノートは、定期試験直前に提出し、評価点を付けて試験後に返却される。</li> <li>2. 定期試験では、実技試験を行わず、筆記試験の実践想定設問への解答で評価される。</li> </ol>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省）</li> <li>2. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>3. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>4. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>5. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省）</li> <li>6. 生徒指導提要（平成22年 文部科学省）</li> </ol> <p>随時、独自に作成された資料を配布し、その中で出典や、参考書を紹介する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：飯嶋 正博 E-mail：mijima[at]juntendo.ac.jp （メールを送る際は、[at]を@に修正してください）</p> <p>【オフィスアワー】 日時：水・木・金曜日の昼休み12:30から 場所：1号館2階心身障害心理学研究室(1212) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p> <p>【連絡先】 担当：村上 祐介 E-mail：y.murakami.az[at]juntendo.ac.jp （メールを送る際は、[at]を@に修正してください）</p> <p>【オフィスアワー】 日時：月・木曜日のお昼休み 場所：1号館2階心身障害心理学研究室(1219) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p>				
担当教員の実務経験	特別支援学校における指導経験を生かし、肢体不自由を中心とした特別支援教育で求められる知識や技能を分かりやすく解説する。				

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習の60時間の合計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 この科目は指導法であるため、講話のみでは理解を深めることが難しいので、視聴覚教材を多用し、実践的な演習も加わるため、五感、各種心情に訴えることがある。</p> <p>特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：肢、含む領域：知・病）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	飯嶋、村上	<p>【授業内容】 テーマ：オリエンテーション 本授業の目的および目標の解説をし、授業の進め方、特にアクティブ・ラーニング・ノートの活用について説明する。</p>	講義	<p>(復習：4時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。 新聞、各種ニュース、雑誌などで「身体障害」について関連する記事を調べる。</p>
2	村上	<p>【授業内容】 テーマ：特別支援教育 今日の特別支援教育の現状や課題について、とりわけ肢体不自由を巡る動向から解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 昨今の教育での問題点、とりわけ肢体不自由児に関わる事項について調べる。 (復習2：時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
3	村上	<p>【授業内容】 テーマ：「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」 教育・支援を行う上で重要な「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」について調べる。 (復習：2時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
4	村上	<p>【授業内容】 テーマ：「自立活動」 特別支援教育において重要な「自立活動」について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「自立活動」について調べる。 (復習：2時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
5	村上	<p>【授業内容】 テーマ：肢体不自由教育における指導案 肢体不自由教育で求められるよい指導案の例や作成方法について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 指導案の書き方について調べる。 (復習：2時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
6	村上	<p>【授業内容】 テーマ：チームティーチング 特別支援教育におけるチームティーチングの重要性や方法、その効果について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「チームティーチング」について調べる。 (復習：2時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
7	村上	<p>【授業内容】 テーマ：小中高等学校における肢体不自由教育 小学校や中学校、高等学校での肢体不自由教育の現状と課題について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「インクルーシブ教育」について調べる。 (復習：2時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
8	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：医療的ケア 教育に導入された医療的ケアについて解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「医療的リハビリテーション」について調べる。 (復習：2時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
9	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：介助と介護 肢体不自由者への介助・介助に関する基礎的な配慮、技術について解説する。 主に日常生活支援に関する行動を対象とする。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「医療・介護事故」などについて調べる。 (復習：2時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
10	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：自立活動「身体の動き」 実際に特別支援学校で用いられている自立活動の技法について解説する。 特に、「身体の動き」を支援するために用いられている「動作法」などについて解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「動作法」について調べる。 (復習：2時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】 病弱者指導法	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】 病弱者指導法	対象学年	3年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	小出 敬一	ナンバリング	SNE3414		
担当教員	小出 敬一、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	病弱の子どもの教育はどのようなものであるか、その制度的・歴史的背景、病気の種類の変遷、病弱教育の意義、これからの病弱教育の課題について学び、特別支援教育の観点から病弱の子どもの教育における指導内容の基礎理解を図るとともに、その指導法について学ぶ。病弱教育の意義、教育制度、教育課程の内容と編成、病弱教育における重複障害児の指導、病弱教育におけるICT活用、病弱児の心理、家族・病院・前籍校との連携と支援、病弱教育の課題とこれからの展望について、具体的事例を通して学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病弱児の教育がどのような場で、どのような形態で行われているかについて説明できる。</li> <li>2. 病弱教育の指導法、病弱への自己管理支援について正しく理解できる。</li> <li>3. 教育支援場面での具体的な考え方、方法を説明できる。</li> <li>4. 病弱教育の概要を説明できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における健康学科選択必修科目に位置付けられる。また、特別支援学校教諭1種免許（必修）の指定科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目は、「スポーツ健康科学を中心とした教養」、「健康科学分野の専門的な知識と技能」及び「専門的な実践力」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 以下の科目を受講していることが望ましい。 「障害者教育総論」「障害者の病理と生理」「発達障害と重度・重複障害者の教育」「障害者の進路支援」「病弱者の看護」</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 1. 授業開始以降15分を経過しての入室は遅刻とする。 2. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。 3. 病弱や障害がある子どもの教育方法を学ぶ科目である。受講上の基本的なルール（私語・携帯端末の仕様・飲食等の禁止ほか）を守り「教員として子どもに注意したくなるような行為を自らしない」ことを原則として受講すること</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平常点（授業での質問・発言の回数及び内容）：20%（30点）</li> <li>2. 提出物等：20%（20点）</li> <li>3. 試験成績：50%（50点） 計100点満点</li> </ol>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病弱児の教育がどのような場で、どのような形態で行われているかについて説明できたか（授業内レポート課題）。</li> <li>2. 病弱教育の指導法、病弱への自己管理支援について正しく理解できたか（授業内小テスト、筆答試験）。</li> <li>3. 教育支援場面での具体的な考え方、方法を理解し、説明できたか（授業内レポート課題）。</li> <li>4. 病弱教育の概要を理解し説明できたか（授業内小テスト、筆答試験）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内小テストはマークシートで実施し、その場で解答を解説する。</li> <li>2. 期末筆答試験もマークシートで実施し、試験後に解説を行う。</li> <li>3. レポート、リアクションペーパーについては回収後、内容を確認の上評価を行い、授業内で返却または解説を行う。</li> </ol>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
「チームで育む病弱の子ども」 松浦俊弥編著 北樹出版					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当： E-mail：[at] soc.shukutoku.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 ・授業時間後、非常勤講師控室で受ける。</p>				
担当教員の実務経験	特別支援学校教諭、管理職としての勤務経験に基づき、病弱者の指導に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。				
備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学習を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：病、含む領域：知）</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画					

授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	小出	1 オリエンテーション 1) 授業の目標 2) 授業の内容 3) 受講のルールについて 2 病弱教育概観 特別支援教育の現状と病弱教育について	教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。	(復習: 2時間) 授業内容の復習を行い、次回の小テストに備える。
2	小出	(病弱教育の制度) ・病弱教育の対象 ・病弱教育を実施する学校 ・法制度等	教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。	(予習: 2時間) 学校教育法に定められている「病弱教育の対象」に関する規定を読み、病弱児とはどういう子どもたちかを調べておく。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けて指定されたテキストのページをしっかりと学習しておく。 (復習: 2時間) 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたリアクションペーパーをまとめ提出する。
3	小出	(病弱教育の歴史) ・病弱教育が誕生した歴史的背景 ・現代の病弱教育 ・今後の課題	教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。	(予習: 2時間) テキストを通じて病弱教育が誕生した歴史的背景を学んでおく。小テスト(予習復習確認テスト)に向けて指定されたテキストのページをしっかりと学習しておく。 (復習: 2時間) 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたリアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。
4	小出	(病弱教育の内容) (1) ・病弱教育の位置づけ ・学習指導要領について ・病弱教育の教育課程について	教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。	(予習: 2時間) 病弱教育の内容や指導方法等についてテキストから学んでおく。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けてしっかりと学習しておく。 (復習: 2時間) 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたリアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。
5	小出	(病弱教育の内容) (2) ・病弱教育の授業について (ICTを活用した授業など) ・病弱教育の自立活動について	教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。	(予習: 2時間) 病弱教育の自立活動のあり方についてテキストを通じて学ぶ。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けて重要事項をしっかりと学習しておく。 (復習: 2時間) 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたリアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。
6	小出	(病弱教育の内容) (3) ・小中学校や高校等にいる病気の子どもへの支援について	教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。	(予習: 2時間) 通常の小中学校や高校にいる病気の子どもたちにとどのような支援が必要なのかをテキストから学ぶ。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けてしっかりと学習しておく。 (復習: 2時間) 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたリアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。
7	小出	(病弱教育の対象となる病気) (1) ・小児喘息などの呼吸器疾患 ・腎臓病 ・筋ジストロフィー	教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。	(予習: 2時間) 病弱教育の対象となる様々な子どもの病気について基礎的な知識を学ぶ。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けてしっかりとテキストを学習しておく。 (復習: 2時間) 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたリアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。
8	小出	(病弱教育の対象となる病気) (2) ・悪性新生物	教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。	(予習: 2時間) 病弱教育の対象となる様々な子どもの病気について基礎的な知識を学ぶ。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けてしっかりとテキストを学習しておく。 (復習: 2時間) 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたリアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】視覚障害者の教育	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】視覚障害者の教育	対象学年	4年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	井口 二郎	ナンバリング	SNE4415		
担当教員	井口 二郎、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目では、視覚障害について、生理学、心理学、社会学、それぞれの側面から多面的に理解するとともに、視覚障害者スポーツの概要から障害のしくみと特性について学習することによって、指導者としての配慮や特別な支援を要する教育方法を学習する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 視覚障害のしくみと特性について、整理・解剖・病理学的な基礎知識を修得できる。</li> <li>2. 視覚障害者の心理特性・行動特性について理解することができる。</li> <li>3. 視覚障害者を取り巻く社会的背景について学び、受講者自身の行動のあり方について能動的に学習することができる。</li> <li>4. 視覚障害者スポーツの魅力を深く理解し、それを伝え指導するための知識と技能を修得できる。</li> </ol>				
到達目標					
授業の位置づけ	この科目は、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連					
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚に障害があることによって学習上、生活上においてどのような困難が予想されるか、考えておく。また、その困難に対してどのような支援ができるか考えておく。</li> </ul> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間課題を与え、次の時間に採点したものを返却し説明する。</li> </ul> <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「片手で2匹つかんだよ：視覚障害教育を初めて学ぶかたのために」井口二郎、白鷗社</li> <li>2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省）</li> <li>3. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省）</li> <li>4. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>5. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>6. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> </ol> <p>2～6は参考書であり、授業中は適宜参考資料を配布する。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 視覚障害からもたらされる困難の内容を理解し、視覚障害に応じた自立活動の在り方を理解する。（定期試験、レポート）</li> <li>2. 全盲および弱視の児童生徒の発達に応じた指導法を知り、その特徴について理解する。（定期試験、レポート）</li> <li>3. 視覚障害による移動の困難、空間概念の形成の難しさ、コミュニケーションの困難を様々な教育方法によって改善することを理解する。（定期試験、レポート）</li> </ol> <p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点（20%）、毎時間のレポート（30%）、定期試験（50%）を総合して評価する。</li> </ul>				
評価基準					
試験・課題に対するフィードバック方法					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：井口 二郎 E-mail：ddzac07800@yahoo.co.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>授業時間前後、非常勤講師控室で受ける。</p>				
担当教員の実務経験					

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 特別支援学校教諭としての勤務経験に基づき、視覚障害者の教育に関する実践的な内容をわかりやすく解説する。</p> <p>【その他】 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：視、含む領域：／）</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	井口	<p>【授業内容】 テーマ：視覚障害教育の概要 「盲学校の紹介」のDVDを視聴、視覚障害教育の概要理解、視覚障害教育の歴史 スポーツ解説「ゴールボール」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業</p>		<p>(復習：2時間) 晴眼児と視覚障害児の行動の違いについて、学習面、生活面についてまとめ、定着を図る。</p>
2	井口	<p>【授業内容】 テーマ：見える仕組み（視覚障害の病理）眼球図の描写、眼球内各部の役割、眼疾、スポーツ解説「グランドソフトボール」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業</p>		<p>(予習：2時間) 日常生活の中で見えなくて困ることは何かを箇条書きにし、授業に備える。 (復習：2時間) 眼球図をフリーハンドで描けるようにする。</p>
3	井口	<p>【授業内容】 テーマ：見える仕組み（視覚障害の生理） 視機能の種類とその役割、 スポーツ解説「フロアバレーボール」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業</p>		<p>(予習：2時間) テキストを読み、疑問点を把握する。 (復習：2時間) 視機能の障害からもたらされる困難をまとめ、定着を図る</p>
4	井口	<p>【授業内容】 テーマ：教科学習 国語・社会・算数の指導法、レーザーライターの使用法 スポーツ解説「サウンドテーブルテニス」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業。レーザーライターを使って文字を書く。</p>		<p>(予習：2時間) 視覚に障害があることで教科指導にどのような工夫が必要かをまとめ、授業に備える。 (復習：2時間) 授業において補助具がどのように使われているかをまとめ、定着を図る。</p>
5	井口	<p>【授業内容】 テーマ：教科学習 前時以外の教科学習の指導法、 スポーツ解説「ブラインドテニス」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業</p>		<p>(予習：2時間) 視覚障害者はどのようなスポーツを行っているのか関連図書などで調べて、授業に備える。 (復習：2時間) これまでに行われている視覚障害者スポーツのほかにはどのようなものが考えられるか自分なりに考え、その特徴をまとめる。</p>
6	井口	<p>【授業内容】 テーマ：発達 初期の発達、発達に及ぼす影響 スポーツ解説「ブラインドテニス」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業</p>		<p>(予習：2時間) 視覚障害児が成長するにつれて、生活する上でどのような不自由があるかまとめておく。 (復習：2時間) 生活上最も課題になる発達について、課題解決のために必要な指導は何かまとめることで定着させる。</p>
7	井口	<p>【授業内容】 テーマ：空間概念 空間概念の障害、空間概念の形成、 スポーツ解説「ブラインドサッカー」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業</p>		<p>(予習：2時間) 視覚障害における三つの主な困難について関連図書などで調べ、授業に備える。 (復習：3時間) 空間概念が育ちにくい視覚障害児童生徒への指導法についてまとめ、定着を図る。</p>
8	井口	<p>【授業内容】 テーマ：心理特性 全盲児童生徒の心理特性、 スポーツ解説「ブラインドゴルフ」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業</p>		<p>(予習：2時間) パーバリズムについて関連図書などで調べ、授業に備える。 (復習：3時間) 視覚障害児童生徒の心理特性に対応したコミュニケーションのあり方についてまとめ、定着を図る。</p>
9	井口	<p>【授業内容】 テーマ：心理特性 弱視児童生徒の心理特性、 スポーツ解説「柔道」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使つての授業</p>		<p>(予習：2時間) 晴眼児童生徒と弱視児童生徒との生活にどのような違いがあるか、心理的な観点で考え、箇条書きにして、授業に備える。 (復習：3時間) 全盲児童生徒と弱視児童生徒の心理特性の違いが行動にどのように表れるのか箇条書きでまとめ、定着を図る。</p>




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】発達障害と重度・重複障害者の教育	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】発達障害と重度・重複障害者の教育	対象学年	4年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	飯嶋 正博	ナンバリング	SNE4417		
担当教員	飯嶋 正博、村上 祐介、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	今、障害者差別解消法の制定により、基礎的環境整備と合理的配慮が教育に求められ、インクルーシブ教育の構築のための実践力が教員に求められている。この授業では、障害者の教育・支援のために、「肢体不自由者指導法」や「知的障害者指導法」で学んだ知識や技法をより活用して、発達障害や重度・重複障害者の特性について理解し、人とのコミュニケーションやQOLを高めるための基礎的能力を教授するための実践方法について修得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達障害者の心理的特徴、行動特性、実態を理解し、言語障害などのコミュニケーション能力を説明することができる。</li> <li>2. 重度・重複障害者の心理的特徴、行動特性、実態を理解し、言語障害などのコミュニケーション能力を説明することができる。</li> <li>3. 特別支援学校のみならず、他の教育現場でも基礎的環境整備と合理的配慮ができて、言語指導や人とのやり取りができるように適切な教育・支援活動ができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「社会や環境の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識又は技能をもとに課題を解決できる能力」の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「肢体不自由者指導法」「知的障害指導法」「病弱者指導法」を受講していることが望ましい。</li> <li>2. 自分自身のノートを用いても構わないが、独自に作成されたアクティブ・ラーニング・ノートに基づいて受講する。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平素点は、講義中のノートの記載と、予習・復習で行われるノート整理・課題レポートの記載を30%</li> <li>2. 定期試験による出題への知識・理解、さらにその実践的対応力が70%</li> <li>3. 両者の合計100%中、60%以上で合格とする。</li> </ol>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義内容を整理し、ノートに記載できる。（平常点、レポート）</li> <li>2. 自ら内容を整理し、より深く調べたり、考えたりしたことをノートに記載できる。（平常点、レポート）</li> <li>3. 習得した知識や理解を説明できる。（定期試験）</li> <li>4. 基礎的な教育・支援のための技法が実践できる。（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブ・ラーニング・ノートは定期試験直前に提出し、評価点を付けて試験後に返却される。</li> <li>2. 定期試験では、実技試験は行わず、筆記試験の実践想定設問への解答で評価される。</li> </ol>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省）</li> <li>2. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>3. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>4. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省）</li> <li>5. 生徒指導提要（平成22年 文部科学省）</li> </ol> <p>随時、独自に作成された資料を配布し、その中で、出典や参考書を紹介する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：飯嶋 正博 E-mail：mijima[at]juntendo.ac.jp （メールを送る際は、[at]を@に修正してください）</p> <p>【オフィスアワー】 日時：水・木・金曜日の昼休み12:30から 場所：1号館2階心身障害心理学研究室(1212) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p> <p>【連絡先】 担当：村上 祐介 E-mail：y.murakami.az[at]juntendo.ac.jp （メールを送る際は、[at]を@に修正してください）</p> <p>【オフィスアワー】 日時：月・木曜日のお昼休み 場所：1号館2階心身障害心理学研究室(1219) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p>				
担当教員の実務経験	特別支援学校での指導経験や心理・発達相談等での臨床の経験を生かし、発達障害児や重度・重複障害児への教育の理念や実践方法をわかりやすく解説する。				

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の合計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 この科目は内容に一部指導法も含まれるため、講話のみでは理解を深めることが難しいので、視聴覚教材を多用し、実践的な演習も加わるため、5感、各種心情に訴えることがある。</p> <p>特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：重複・LD領域等、含む領域：／）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	飯嶋、村上	<p>【授業内容】 テーマ：オリエンテーション 本授業の目的および目標を解説し、授業の進め方、特にアクティブ・ラーニング・ノートの活用について説明する。</p>	講義	<p>(復習：4時間) アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。 新聞、各種ニュース、雑誌などで「発達障害」について最新的话题を調べる。</p>
2	村上	<p>【授業内容】 テーマ：発達障害とは 多様な発達特性を示す発達障害の各診断名やその概念、状態像について説明する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「発達障害者支援法」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
3	村上	<p>【授業内容】 テーマ：自閉スペクトラム症（自閉症スペクトラム障害、ASD） 自閉スペクトラム症の子どもの事例を紹介しながら、社会的コミュニケーションやこだわり、感覚といった代表的な特性について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「自閉スペクトラム症（ASD）」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
4	村上	<p>【授業内容】 テーマ：注意欠如・多動症（注意欠如・多動性障害、ADHD） 注意欠如・多動症に関する心理的特徴、行動特性、実際の様子を説明し、日常生活で生じる困難さとその背景要因について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「注意欠如・多動症（ADHD）」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
5	村上	<p>【授業内容】 テーマ：限局性学習症（限局性学習障害、SLD） 限局性学習症に関する心理的特徴、行動特性、実際の様子を説明し、日常生活で生じる困難さとその背景要因について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「限局性学習症（SLD）」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
6	村上	<p>【授業内容】 テーマ：発達性協調運動症（発達性協調運動障害、DCD） 運動発達上の困難さを示す発達性協調運動障害児の特性について紹介し、主に体育場面における指導の在り方について説明する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「不器用さ」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
7	村上	<p>【授業内容】 テーマ：発達障害と学校教育 多様な発達特性を示す発達障害のある子どもの学校生活について様々な事例を紹介し、学校での関わり方や支援の在り方について解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「ソーシャルスキルトレーニング」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
8	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：運動発達の支援方法 運動、人間関係、心の安定などに不器用さを示す人に対して教育・支援の仕方として活用されている「動作法」について解説する。 構音障害の指導や吃音の指導、身体を用いたサイン言語の指導などに活用する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「動作法」について調べる (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
9	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：重度・重複障害 重度・重複障害者の心理的特徴、行動特性、実際の様子などをノンバーバルの言語から表出行動をとらえ、解説する</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「植物人間」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
10	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：重度・重複障害児への学校教育 重度・重複障害児の学校教育現場での実際の教育・支援について解説する。 動作法のみならず身体を介した多様な取り組みから主体的な活動、サインの捉え方を解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「医療的ケア」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
11	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：生きがいくくり 障害を持ちながらも、自立を目指し、社会参加へと充実した人生を歩む人を紹介し、そのための教育・福祉の意義を解説する。</p>	講義、グループワーク	<p>(予習：2時間) 「ホーキング博士」について調べる。 (復習：2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>



科目名	【新カリ】 病弱者の心理・生理・病理	授業形態	講義	
英語科目名	【新カリ】 病弱者の心理・生理・病理	対象学年	3年	
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位	
代表教員	黄田 常嘉	ナンバリング	SNE3411	
担当教員	黄田 常嘉、松浦 俊弥、スポーツ健康科学部教員共通			
授業概要				
全体内容	<p>【授業全体の内容】          本科目では、小児期に発症する主な疾患の基礎的知識を学び、慢性的疾患の罹患から生じる身体的・心理的・社会的側面への影響を理解した上で、症状を緩和する看護だけでなく、病弱者である児童生徒とその保護者に応じた教育的支援について考える。適宜、グループワークなどを取り入れながら、特別支援教育の分野でよくみられる主な疾患や障害の病態生理とその治療、健康管理が必要な小児に対する指導や支援のあり方について理解を深めることを目的としている。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援学校における代表的な疾患の基礎知識と治療方法の概要が理解できる。</li> <li>2. 慢性的な疾患を持つ児童生徒の身体的、心理的、社会的影響が理解できる。</li> <li>3. 児童生徒と保護者に対する教育上の指導や配慮を理解し、特別支援学校の教育の役割について考えることができる。</li> <li>4. 児童生徒とその保護者が暮らしやすい社会の実現に向けて、自らの考えを深めることができる。</li> </ol>			
到達目標				
授業の位置づけ	この科目は、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う【テキスト・参考書等】</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 飯野順子 他 編：特別支援教育ハンドブック、東山書房、2014</li> <li>2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省）</li> <li>3. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>4. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>5. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）</li> <li>6. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省）</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考書であり、授業中は適宜参考資料を配付する。</li> </ul>			
成績評価の方法				
評価方法	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援学校における代表的な疾患の基礎知識と治療方法の概要を説明できる（定期試験、レポート）</li> <li>2. 慢性的な疾患を持つ児童生徒の身体的、心理的、社会的影響が説明できる（レポート）</li> <li>3. 児童生徒と保護者に対する教育上の指導や配慮を理解し、特別支援学校の教育の役割について述べることができる（定期試験、レポート）</li> <li>4. 児童生徒とその保護者が暮らしやすい社会の実現に向けて、自らの考えを述べる（定期試験、レポート）</li> </ol> <p>【成績評価の方法】</p> <p>平常点（グループワーク参加状況を含む）（30%）、レポート（20%）、定期試験あるいは最終課題レポート（50%）を総合して評価する。</p>			
評価基準				
試験・課題に対するフィードバック方法				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：中西 唯公          Email：ynakani@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】          前期・後期：水曜日12:00～12:50          場所：1号館4階1418室（看護学研究室）</p>			
担当教員の実務経験				

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 この科目では、医療現場において看護師、保健師として経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。</p> <p>【その他】 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（中心領域：病、含む領域：知・肢）</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	中西	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の看護を学ぶ意義、病弱者、身体虚弱とは ・授業計画を提示し、本科目の内容や到達目標を知り、病弱者の看護を学ぶ意義について学習する。 ・病弱者、身体虚弱の概念について学習する。</p> <p>【授業方法】 ・授業計画を配布し、プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・病弱者の看護学を学ぶ意義や看護について解説する。 ・病弱者や身体虚弱に概念・提議について解説する。</p>		<p>(復習：3時間) 病弱者の看護を学ぶ意義、病弱者・身体虚弱の概念について整理する。</p>
2	中西	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の心理・行動とその影響（1）子どもの健康・病気の認識と発達 ・病弱者の心理・行動とその影響について学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・発達理論を基にして、小児の病気の認識と発達過程および看護への応用を解説する。</p>		<p>(予習：2時間) ピアジェの認知発達理論、エリクソンの心理発達理論について調べる。 (復習：2時間) ピアジェの認知発達理論とエリクソンの心理発達理論が子どもの病気の理解への適用についてまとめる。</p>
3	中西	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の心理・行動とその影響（2）病気や入院が子どもと家族に与える影響① ・病弱者の心理・行動とその影響について学習する。 ・病気や入院が子どもや家族に与える影響について視覚教材から考える。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・視覚教材を提示し、子どもと保護者の視点から、生活にどのような影響が起こるかを考えさせる。</p>		<p>(予習：2時間) 子どもの病気や入院は、子ども自身や家族にどのような影響を与えるのか、自分自身や周囲の人達の経験から考えをまとめておく。 (復習：3時間) グループワークの中でメンバーから出された意見を整理する。</p>
4	中西	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の心理・行動とその影響（3）病気や入院が子どもと家族に与える影響② ・病弱者の心理・行動とその影響について学習する。 ・グループワークの発表から、個人で考えたことや気づいたことを共有し、幅広い視点に気づく。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める ・グループごとに気づいた内容を発表させ、補足・解説を行う。</p>		<p>(予習：3時間) グループワークでまとめた意見を発表できるように準備する。 (復習：2時間) 他のグループから提示された意見なども参考にしながら、子どもの病気や入院は、子ども自身や家族にどのような影響を与えるのか、自分自身の考えを深める。</p>
5	中西	<p>【授業内容】 テーマ：外来、入院、在宅における子どもの看護（1）-外来- ・外来受診と日常の家庭や学校における看護のあり方について学習する。 ・外来の役割と学校との連携について学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・小児外来の特徴や学校との連携について解説する。</p>		<p>(予習：2時間) 自分が病院受診をした時を思い出し、病院受診するまでの流れや外来のイメージをまとめておく。 (復習：2時間) 健康障害を持つ子どもと家族にとって、小児外来での医療や看護が果たす役割は何かを考えてまとめる。</p>
6	中西	<p>【授業内容】 テーマ：外来・入院・在宅における子どもの看護（2）-入院- ・入院生活における看護のあり方と退院後の学校での対応について学習する。 ・入院の役割と入院による子どもと保護者のストレスについて学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・小児病棟の特徴や入院によるストレスについて解説する。</p>		<p>(予習：2時間) 入院経験がある者は自分の入院経験についてまとめ、ない者は身近な入院経験者の話を聞き、困ったことなどをまとめておく。 (復習：2時間) 入院が必要な子どもの看護の役割は何か、また在宅療養している子どもの生活を支援するための看護の役割は何かをふり返る。</p>
7	中西	<p>【授業内容】 テーマ：外来・入院・在宅における子どもの看護（3）-在宅、先天異常を持つ子どものケア- ・在宅療養を受ける子どもと学校での対応について学習する特徴とそのケアについて学習する。 ・先天異常を持つ子どもの特徴とそのケアについて学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・在宅療養児の状況と生活について解説する。 ・先天異常を持つ子どもの看護について解説する。</p>		<p>(予習：2時間) 先天異常の子どもを持つ親の心理（先天異常をもつ子ども誕生に対する親の反応：ドローター）について調べておく。 (復習：2時間) 先天異常をもつ子どもと家族への学校での支援をまとめる。</p>





科目名	【新カリ】障害者の病理と生理			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】障害者の病理と生理			対象学年	3年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	黄田 常嘉			ナンバリング	SNE3412
担当教員	黄田 常嘉、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	障害者及び障害児が基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重され共生する社会の実現に寄与できるように、さまざまな知的障害、発達障害、精神障害、身体障害に関する病態や心理について学び理解を深めていく。令和3年時点で、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）の対象疾病だけでも366に上り、その全てを授業内で網羅することはできないが、代表的な疾患や病態について取り上げることで、学びの入り口にして貰いたい。				
到達目標	さまざまな障害について医学的知識を習得した上で、障害者を取り巻く社会環境、生活実態を考慮した支援を行うための礎を築くことができる。 特別支援学校教諭および養護教諭として、信頼される有為な人材となれるような、知識、資質、考え方を身に付けることができる。				
授業の位置づけ	この科目は、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部のディプロマポリシーに定める「健康を創造・支援するために必要な身体的・精神的・社会的健康についての知識と技能」、「健康に関する専門性を活かし、人づくり、社会づくりに貢献できる能力」を身につけるための科目として位置付けられる。				
履修上の注意、履修要件	授業で学んだ事項に関して、書籍やインターネットなどを通じた自己学習によって理解を深めて欲しい。 遅刻や早退2回を以て欠席1回とカウントされる。				
成績評価の方法					
評価方法	授業中の学習状況（50%）や単位認定試験の評点（50%）により行う。				
評価基準	さまざまな障害に関する基本的な知識を有している。（単位認定試験） 障害者の心理、障害者の家族の心理について理解できる。（単位認定試験） 障害者支援に関する法律や制度を理解している。（単位認定試験） 授業への出席状況や討議での発言など受講態度を評価する。（平常点）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
試験のフィードバックなどはJ-PASSを通して行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】担当：黄田常嘉 / 山口慎史 内線 331/9401 E-mail : ota*juntendo.ac.jp / s.yamaguchi.rt*juntendo.ac.jp （*を@に読み替えて下さい） 【オフィスアワー】 木曜日1～2限他、適宜。 場所：2号館2階 1216号室。 健康管理室業務や医学部業務で不在のこともあるため、事前にメールか内線に連絡をすること。				
担当教員の実務経験	科目責任者は、精神科専門医、精神保健指定医、公認心理師、臨床心理士として、外来入院の診療活動、精神鑑定、学校や企業の健康管理室、特別支援教育専門家検診など精神医学に関連した多彩な業務経験を有している。その経験を活かしながら、精神科医療、精神保健における実践的な講義内容を展開する。				
備考	特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（中心領域：知、含む領域：肢・病）  この授業は講義形式の2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間を学習を必要とする内容を以て構成する。  COVIDの流行状況により授業計画等が変更される可能性があります。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	黄田	障害福祉の概念や制度の変遷： 旧優生保護法、無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）、 ICIDH: International Classification of Impairments, Disabilities and Handicaps, ICF: International Classification of Functioning, Disability and Health 障害者手帳、障害者虐待防止法、障害者総合支援法、障害者雇用促進法、障害者差別解消法など	スライド提示と視聴覚教材による講義	（予習時間：2時間） 講義資料を通読しておくこと。  （復習時間：2時間） 講義ノートをもとめておくこと。	





科目名	【新カリ】聴覚障害者の教育	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】聴覚障害者の教育	対象学年	4年		
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位		
代表教員	須藤 正彦	ナンバリング	SNE4416		
担当教員	須藤 正彦、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>これまでの聴覚障害教育と現代の当該教育の傾向や課題について講師が解説する一方、受講生はそれらの課題について個人またはグループで考える。教育に関する知識のみならず、聴覚に障害があっても一般の教育環境で学習することが可能となるための諸条件(社会の理解・法的整備、情報保障技術＝音声や聴覚情報を視覚・文字情報や振動感覚に変換して伝える技術の活用、指導者のコミュニケーション能力の向上等)を将来指導者となる講義の受講生自身の身近な問題として捉え、応用できるよう解説、学習する。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聴覚障害の種類や聴覚障害教育の概略を説明できる。</li> <li>2. 現代の聴覚障害教育の課題について論じることができる。</li> <li>3. 聴覚障害者が一般の教育環境で学修を行なえるための諸条件を説明できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は特別支援教育（聴覚障害教育）の免許の一領域でもあり、様々な障害児とのコミュニケーション能力や教養の向上に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>特になし。</p> <p>[履修上の注意]</p> <p>授業中は私語を慎しみ、欠席が事前に分かる場合は欠席届を提出。</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]</p> <p>必要に応じてフィードバックする。</p> <p>[テキスト・参考書等]</p> <p>資料はその都度配布する。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>課題発表等20%、筆記試験80%にて評価する。</p> <p>筆記試験（聴覚障害の理解、教育場面における障害のある児童・生徒への配慮について）の解答結果と出席・取組状況を基に評価する。特に伝音性難聴と感音性難聴の違い、新生児スクリーニング検査、聴覚に障害のある人とのコミュニケーション方法など基本的事項の理解がなされているかを単位認定の基準とする。</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聴覚障害の種類や聴覚障害教育の概略を説明できる。（課題発表・筆記試験）</li> <li>2. 現代の聴覚障害教育の課題について論じることができる（課題発表・筆記試験）</li> <li>3. 一般教育環境下における聴覚障害者の学修について、必要となる条件を説明できる（課題発表・筆記試験）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
受講生の問い合わせ等に応じてフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>suto[at]a.tsukuba-tech.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>日時：後期、月曜日15:30～16:30</p> <p>場所：非常勤講師室</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>[学修時間]</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[実務経験のある教員による授業]</p> <p>該当しない</p> <p>[その他]</p> <p>新型コロナウイルス感染の状況により、授業計画等をお願いする可能性があります。授業で伝えたことのみならず、各自でさらなる関連情報をリサーチして下さい。</p> <p>期末試験対策だけでなく、日頃から聴覚障害や手話等コミュニケーションに関する情報にアンテナを向けて下さい。</p>				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	須藤正彦	(授業内容) 聴覚と音声の機能について理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2.5時間) 聞く・話す行為のメカニズム (復習：2.5時間) 聞く・話す行為のメカニズム (準備時間計：5時間)
2	須藤	(授業内容) 聴覚・言語障害について理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2.5時間) 聴覚障害・言語障害とは (復習：2.5時間) 聴覚や言語障害の機序 (準備時間計：5時間)
3	須藤	(授業内容) 聴覚障害とコミュニケーションについて理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える		(予習：2.5時間) コミュニケーションとは (復習：2.5時間) 聴覚障害とコミュニケーションについて (準備時間計：5時間)
4	須藤	(授業内容) 聴覚障害補償（補聴器、人工内耳、手話）について理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2時間) 補聴器と手話について (復習：2時間) 聴覚障害と補償機器について (準備時間計：4時間)
5	須藤	(授業内容) 聴覚に障害のある児童の指導  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2時間) 聴覚活用とは (復習：2時間) 聴覚障害の補償 (準備時間計：4時間)
6	須藤	(授業内容) 聴覚に障害のある生徒の指導について理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2時間) 思春期の障害認識について (復習：2時間) 障害受容について (準備時間計：4時間)
7	須藤	(授業内容) 聴覚障害教育の歴史（1）戦前の歴史について理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2時間) 障害者の差別について (復習：2時間) 戦前の日本の聴覚障害教育 (準備時間計：4時間)
8	須藤	(授業内容) 聴覚障害教育の歴史（2）戦後における歴史について理解を深める  (授業方法) グループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2時間) 戦後の民主化と教育について (復習：2時間) 戦後の聴覚障害教育の遷移 (準備時間計：4時間)
9	須藤	(授業内容) 海外の聴覚障害教育（英国、スペイン、仏国、米国等）について理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2時間) 英国、スペイン、米国等の歴史 (復習：2時間) 西欧、日本を含むアジアの聴覚障害教育 (準備時間計：4時間)
10	須藤	(授業内容) 聴覚障害者の高等教育について理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える	(予習：2時間) 筑波技術大学のホームページを閲覧 (復習：2時間) 聴覚障害者の高等教育への進学について (準備時間計：4時間)
11	須藤	(授業内容) 海外の聴覚障害者の高等教育について理解を深める  (授業方法) 講義、板書とICTを活用して講義を進める。また、実習的な内容の際はグループ討論を加える		(予習：2時間) ギャロデット大学について (復習：2時間) 米国、中国、タイ、韓国等での聴覚障害高等教育 (準備時間計：4時間)



---

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】特別支援教育実習（事前事後指導を含む）			授業形態	実験・実習
英語科目名	【新カリ】特別支援教育実習（事前事後指導を含む）			対象学年	3年
開講学期	2022年度後期			単位数	3単位
代表教員	渡邊 貴裕			ナンバリング	SNE3418
担当教員	渡邊 貴裕、飯嶋 正博、黄田 常嘉、尾高 邦生、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本科目は、実習の授業形態で行われる。既に特別支援教育に関する学んだ内容を、実際に特別支援学校での実習を通して、更に深く理解するとともに、教員としての実践的指導力を身に付けるために、その目的や意義を理解し、主体的に実習に参加する態度を養うとともに、学校の特徴、教育課程、児童生徒の発達や障害の特徴、授業計画と学習指導案の作成、指導技法に加え、教師としての必要な姿勢や服務などの知識を深め、教育実習に向かう心構えを高める。事後学習では、実習日誌等を活用しながら、実習での学習指導や生活指導について省察し、グループワークをしながら意見交換し、学びを深めていく。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援学校教諭の実際の職務について理解できる。</li> <li>2. 学校における学校経営及び教育活動の特色について理解できる。</li> <li>3. 児童生徒の実態把握の仕方と適切な支援・教育の仕方について理解できる。</li> <li>4. 学校内外の関係機関を知り、よりよい連携の仕方について理解できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める、「コミュニケーション力」、「倫理観」ならびに「健康科学分野の専門的な意識と技能」、「健康科学分野の専門的な実践力」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎免許（保健体育）の実習を終了していること。</li> <li>2. 「障害者教育総論」、「障害者の病理と生理」、「知的障害者の心理」、「肢体不自由者の心理」を履修し、さらに障害者指導法に関する科目のうち、2科目以上を履修していること。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前指導への出席と実習日誌の記録から評価する（10%）。</li> <li>2. 本実習への出席と実習日誌の記録、研究（精練）授業の実施及び実習校から提出される評価を基に評価する（80%）。</li> <li>3. 事後指導への出席と体験報告、研究（精練）授業指導案の提出、実習日誌及び事後レポートの提出で評価する（10%）。</li> </ol>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援学校教諭の実際の職務について理解できる（実習日誌、事後レポート等）。</li> <li>2. 学校における学校経営及び教育活動の特色について理解できる（実習日誌、事後レポート等）。</li> <li>3. 児童生徒の実態把握の仕方と適切な支援・教育の仕方について理解できる（学習指導案、実習日誌、事後レポート等）。</li> <li>4. 学校内外の関係機関を知り、よりよい連携の仕方について理解できる（実習日誌、事後レポート等）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
実習日誌については個別に指導し、本実習終了後に返却する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「教員になろう（教職の手引き）」または「教員免許取得のためのガイドブック」（順天堂大学スポーツ健康科学部）</li> <li>2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 平成29年4月告示、2018</li> <li>3. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚部・小学部・中学部）、2018</li> <li>4. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）、2018</li> <li>5. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）、2018</li> <li>6. 特別支援学校高等部学習指導要領 平成31年2月告示、2019</li> </ol> ・参考書であり、授業中は適宜参考資料を配布します					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 担当：渡邊貴裕 E-mail：tkwatana (at) juntendo. ac. jp メールの際は、(at) を@に変更して送信してください。 【オフィスアワー】 日時：前期・後期 火曜日13：00～15：00 木曜日13：00～15：00 場所：1号館2F 1218号（特別支援教育学研究室）				
担当教員の実務経験	特別支援学校教諭としての勤務経験に基づき、障害を持つ人への指導に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。				
備考	【学修時間】 この授業は、実習の授業形態による 3単位の科目であり、2単位が教育実習、1単位が事前・事後指導の科目で構成されている。事前指導は4回、事後指導は3回、本実習は10日間とする。授業15時間と準備学習30時間の合計45時間の学修を必要とする内容をもって構成する。 実習校に関しては、個人独自に学校と交渉することはできない。ガイダンスに従って、自己開拓、協力校、一括申請自治体から選出・決定する。 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育に関する科目 施行規則に定める科目区分または事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習に関する科目（中心領域：肢、知、病）				



